

バージョンアップガイド

[2014の新機能]

GLOOBE 2014 の新機能

共通機能		樹木のレンダリング処理を改良	9
リボンタブ、コマンド配列を一新、またプレゼン関連の機能をまとめたプレゼンタブを新設	4	円弧面のレンダリング処理を改良	9
ツールバーのコマンドの表示/非表示の設定に対応	4	プロジェクト管理	
タッチパネルディスプレイに対応	4	2D CAD データ、IFC、ST-Bridge、SIRCAD データ読み込み機能を、[GLOOBE] ボタンの [新規作成] メニューへ移動	10
起動時に、新規データの作成方法や、既存データの選択、チュートリアル閲覧が選べるダイアログを表示	4	モデルで使用したい仕様書や建具表などを設定できるタブを追加	10
断面線、立面線、または展開視点を選択してビューを開くコマンドをコマンドコレクションに追加	4	AM 素材、AM 建具、AM 部品マスタの出力に対応	10
選択中のオブジェクトを、表示中の全ビューで大きく表示するコマンドを新設	5	モデルから出力するデータの保存先をモデルデータと同名のフォルダとするように変更	11
ビューの視点を管理するコマンドを改良	5	モデルデータと管理フォルダの圧縮、また圧縮ファイルの取り込みに対応	11
エディットボックスの改良	5	モデル単位でユーザープロパティ項目を追加・編集するコマンドを新設	11
Color2D、Color3D のコピー & 貼り付けに対応	5	敷地・外構	
3D ビューで回転または移動操作する場合のビュー表示をワイヤーフレームに変更	5	緑地・舗装のマウス操作による立面移動に対応	12
点線表示の改良	5	水路側溝柵の描画を改良	12
概算積算		建物設計	
概算数量・概算金額を算出できるコマンドを新設	6	スペース・屋根・壁の高さ変更時に、それらに付随する部材の高さも変更するように対応	13
仕様書とモデルデータを関連付けて、相互連携しながら内訳明細書を作成する機能を新設	6	通り芯などのスパン変更に基づき基礎部材も追従するように改良	13
フカシ・増し打ちの数量集計に対応	6	平面ビューで描画レベルの上下にある部材の描画を改良	13
3D ビューで躯体の重なり部分の包絡処理を改良	6	断面ビューで平面で入力した基準芯の描画に対応	14
プレゼン		立面線・断面線の描画を改良	14
P-style への平面・立面データの出力に対応	7	テンプレート割り当ての対象部材を拡張	14
iPad 上で閲覧可能な 2D データを出力するコマンドを新設	7	建物設計：躯体・仕上・金物	
iPad 上で閲覧可能な 3D データを出力するコマンドを新設	7	パラベットと防水アゴの入力コマンドを新設	14
リアルウォーカーの 64 ビット版プログラムに対応	7	平面ビューで充填断熱材の描画に対応	15
iPad 上で閲覧可能な立体の仮想データを出力するコマンドを新設	8	T 字壁の取り合い描画を改良	15
Web のデータ共有サービス「ARCHI Box」にデータをアップロードするコマンドを新設	8	柱まわりの仕上の取り合い描画を改良	15
同じ種類の素材の一括変更に対応	8	柱の耐火被覆と壁の取り合い部分を編集するコマンドを新設	15
建具、カーテンウォール、仕上、AM 部品に対して、AM 質感マスタの個別設定に対応	8	CFT 柱（コンクリート充填鋼管構造柱）の描画に対応	16
質感設定ダイアログの改良	9	梁仕上の自動配置に対応	16
AM 部品の色や質感、曲面形状のなめらかさ設定などの変更に対応	9	梁表現や入力操作の拡張	16
太陽光や部品光に影の設定を追加	9	梁やスラブ、水平プレースの見上げ入力や表示に対応	17

勾配スラブの対応、またスラブのテクスチャ表現にも対応	17
スラブやべた基礎、独立基礎などのハンチ設定に対応	17
スロープのプロパティ項目名の見直し	17
基礎の高さ基準設定の改良	18
3D ビューでのフカシ・増し打ちの色設定に対応	18
フカシ・増し打ちの長さを変更できるコマンドを新設	18
外部天井仕上の面指定入力の対象に床スラブを追加	18
笠木・水切・下端見切・防水アゴの壁高参照入力に対応	19
建物設計：建具・間仕切り	
建具や壁開口の 1 点指定入力に対応	19
寸法追加コマンドに建具高・建具幅を分割する機能を追加	19
引き戸系建具の詳細図寸法線に有効開口寸法を作図するように改良	19
パーティションの詳細図寸法線を目地芯で作図するように改良	20
パーティションの断面寸法線を構成部材で作図するように改良	20
移動パーティション編集に複数区画の作成に必要なコマンド、また建具区画の寸法編集ができるコマンドを新設	20
トイレパーティション・ローパーティションの高さ設定の改良	21
袖付引き戸の方立の対応、また引き戸の引き部への仕上表現の対応	21
シャッターケース上枠の描画を改良	21
取手の彫り込みタイプに対応	21
厚み・種別の異なる壁をまたいで建具を入力した場合の壁の開口処理を改良	21
基礎の立ち上がり部分に建具や壁開口の下端がかかる場合の基礎の開口処理を改良	22
建具領域のプロパティ設定項目の配列を見直し	22
建物設計：階段・手摺	
RC 段形スラブ階段の入力に対応	22
踊り場付きの螺旋階段やスロープの入力に対応	22
階段の踏面寸法の設定に対応	22
階段踊り場の領域編集の拡張	23
階段手摺や手摺壁のささら辺の参照入力に対応、また下端伸長の際の描画を改良	23
ささら桁の立体表現の改良、また 1 点指定入力に対応	23

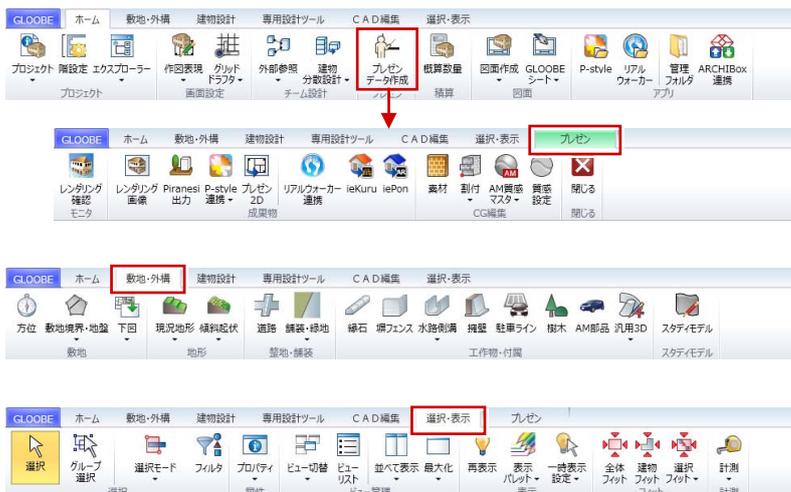
専用設計ツール	
選択したオブジェクト種別のみをリスト表示して、プロパティを確認・変更できるコマンドを新設	24
スペースの重複と隙間をチェックするコマンドを新設	24
柱、壁、梁、床スラブ、二重壁の重複をチェックするコマンドを新設	24
タッチミーの対象部材を拡張	25
入力済みのオブジェクト情報を凡例表に取り込む機能、および属性別に選択できる機能を追加	25
凡例で高さ情報を扱えるように改良	25
断面・展開ビューで基準芯間の寸法線を作図するように改良	25
ポリウム解析	
回り込み適合建物の入力に対応	26
計算建物タイプの指定に対応	26
配置済みの指定点日影の再計算に対応	26
敷地境界線の文字の移動に対応	26
CAD 編集	
JWW データ書き込み時の、レイヤや線種、線幅の割り当てに対応	27
DWG/DXF データ書き込み時の、レイヤの割り当てに対応	27
ロック中のオブジェクトの色別表示に対応、また、ロック状態を全解除するコマンドを新設	27
グループ化を全解除できるコマンドを新設	27
図面/シート	
作成済図面の部分再作成に対応	28
図面のサムネイル表示の高速化に対応	28
配置図で建物区画の作図に対応	28
断面図で天井高寸法の作図に対応	28
建具表で建具取付高の作図に対応	29
建具符号の向きを設定を追加	29
展開図で上階や床下のオブジェクトの作図に対応	29
ポリウム解析配置図で、鳥かご等高線の作図に対応	29
一般図メニューに画像を配置するコマンドを追加	29

共通機能

リボントブ・コマンド配列の改良

より使いやすく、分かりやすくなるように、リボントブやコマンド配列を見直しました。

- ・ GLOOBE で作業できる大まかな内容がわかるように [ホーム] タブのコマンド配列を見直し、関連あるコマンドをメニュー表示にまとめました。
- ・ 立体データや画像データなどのアウトプット作成に必要なコマンドをまとめた [プレゼン] タブを新設しました。
- ・ [敷地・外構] タブと [外構計画] タブを [敷地・外構] タブにまとめました。
- ・ [選択・表示] タブを新設して、ツールバーにあるコマンドを大きくしました。



ツールバーの表示カスタマイズ

ツールバーに表示するアイコンをグループ単位で選択できるようになりました。



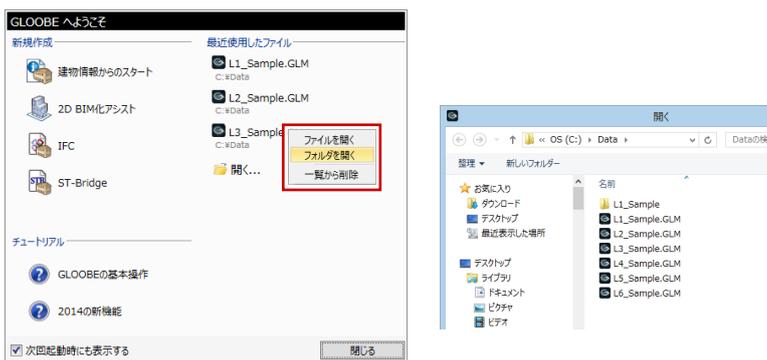
タッチパネルディスプレイ対応

タッチパネルディスプレイに対応しました。また、パネル操作がしやすいように、リボンやパネルの大きさを変更できるようになりました。



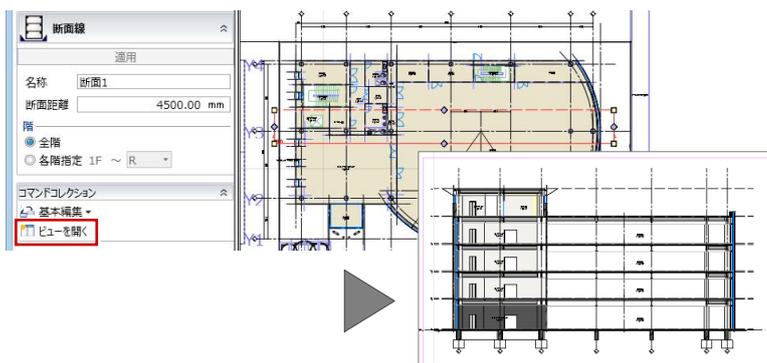
起動メニューの改良

起動時に [GLOOBE へようこそ] ダイアログが表示され、モデルデータの新規作成や開く操作、およびチュートリアル閲覧ができるようになりました。[最近使用したファイル] の一覧では、ファイル上で右クリックして [フォルダを開く] を選ぶと、ファイルが保存されているフォルダを開いて、一覧にはないモデルデータを選ぶこともできます。



断面・立面・展開ビューを開く

平面ビューで断面線、立面線、または展開視点を選び、コマンドコレクションの [ビューを開く] からビューを開くことができるようになりました。



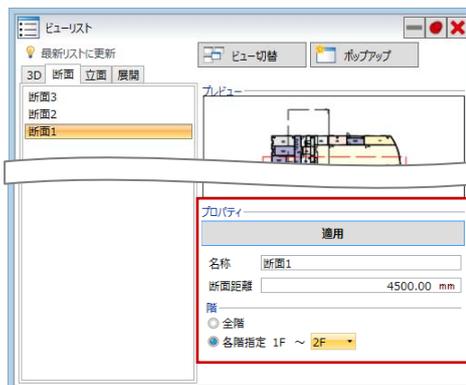
選択フィット (全ビュー)

選択したオブジェクトが、表示中の全てのビュー内に大きく表示される機能を追加しました。選択したオブジェクトの編集操作がしやすくなりました。



ビューリスト

これまでの [ビュー管理] コマンドを [ビューリスト] に変更しました。登録した視点や断面線、立面線、展開視点の位置を [プレビュー] で確認でき、リストからビューを切り替えることができます。また、視点高や断面位置などのプロパティ情報の変更や削除も可能です。



エディットボックスの改良

層コントロールのエディットボックスの幅を固定タイプから伸縮タイプに変更し、これまで隠れていた文字を全て表示できるようになりました。また、[仕上]・[下地] ダイアログの詳細欄を広げ、文字を入力しやすくしました。



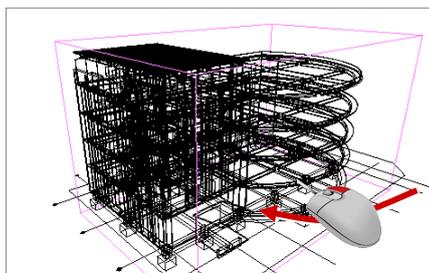
Color2D/3Dのコピー・貼り付け

Color2D/3Dの素材のコピー・貼り付けを可能にしました。複数のオブジェクトに同じ素材を使用したい場合に、素材を設定する手間が省けます。



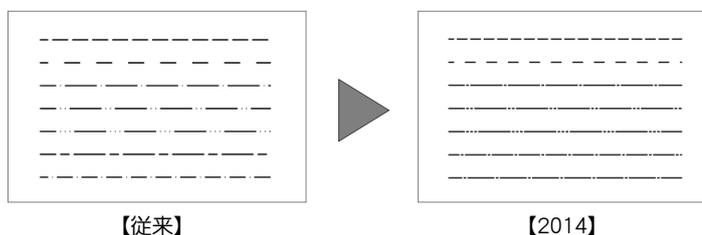
3Dビューの表示改良

マウスでモデルを回転または移動する場合に、3Dビューの表示をワイヤフレームに変更し、描画速度が速くなりました。また、画面のちらつきがなくなり見やすさが改善されました。



点線表示の改良

点線・破線などで、実線と空白の間隔を見直しました。建築図面として間延びした印象が改善されました。

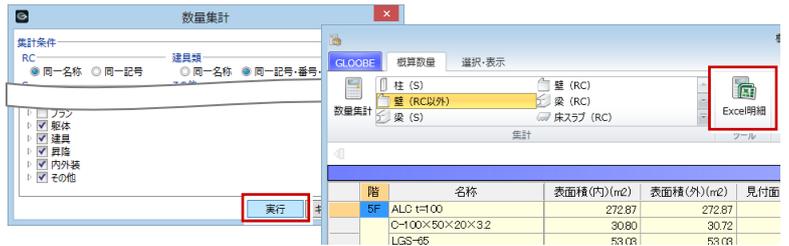


概算積算

概算積算

積算に必要な概算数量・概算金額を算出できるコマンドを新設しました。オブジェクトリストの数量をもとに積算に必要な概算数量を集計し、Excelに出力します。Excel側で単価を設定することで、プロジェクトの概算金額を算出することができます。

概算数量算出の根拠については、資料「参考集計値計算根拠」を参照してください。



階	名称	数量	単価	金額
5F	ALC t=100	272.87	3,999.481円	1,091,000円
	C=100×50×20×3.2	30.80	765.500円	23,566円
	LGS-65	53.00	9,912.884円	525,583円
		166.51	2,497.500円	415,650円

積算データ作成

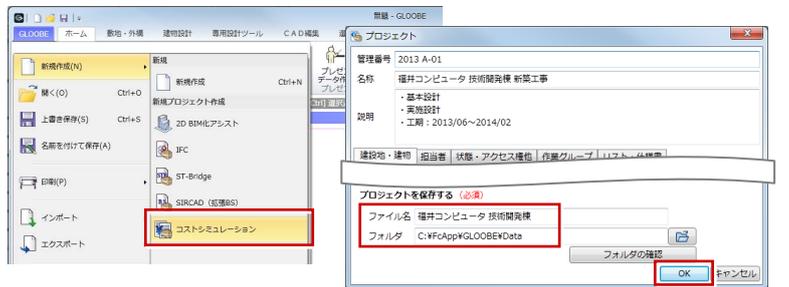
仕様書の材料情報・単価情報とモデルデータを関連付けて、相互連携しながら内訳明細書を作成する機能を新設しました。

仕様書の作成には、新規にデータを作成する場合と、既存のデータから開く場合との2通りの方法があります。

※ 本機能は、お使いのマシンに TOMO データサービス株式会社の積算システムがインストールされている場合に利用できます。

詳しい操作については、操作マニュアル「コストシミュレーション編」を参照してください。

【新規作成の場合】



【既存データから開く場合】



階	名称	仕様	数量	単価	金額	備考	手算集計値	手算単価
1F	内装工事							
2	防音							
4	床	ビニルタイル						
5	床	ビニルタイル	109396	42	4,600.00		109396	42
6	床	タイルカーペット	109323	42	4,600.00		109323	42
7	床	タイルカーペット	109323	42	4,600.00		109323	42
8	床	タイルカーペット	17801	42	745.62		17801	42
9	床	タイルカーペット	17801	42	745.62		17801	42
10	床	タイルカーペット	137005	42	625.42		137005	42
11	床	タイルカーペット	34855	42	1,473.90		34855	42

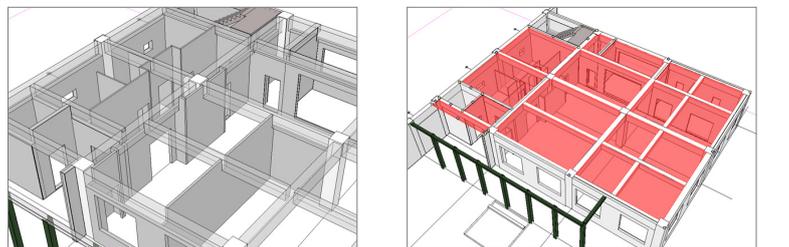
フカシ・増し打ちの数量集計

オブジェクトリストで、フカシ・増し打ちの数量が集計できるようになりました。[表示項目]の[参考集計値]をONにすると確認できます。

階	名称	仕上自動	厚さ(mm)	床長(mm)	体積(m3)	フカシ体積(m3)	断熱材面積(m2)	断熱材体積(m3)	増し打ち体積(m3)
1F	RC □400	☑	4000.00	16000.00	0.6	0.03	1.00	0.03	0.13
	RC □400	☑	4000.00	16000.00	0.6	0.03	1.00	0.03	0.13
	RC □400	☑	4000.00	16000.00	0.6	0.03	1.20	0.03	0.13
	RC □400	☑	4000.00	16000.00	0.6	0.03	1.20	0.03	0.13

立体データ包絡の強化

梁と壁、梁とスラブなどの躯体の重なり部分において、3Dビューでの包絡処理を改良しました。それにより、梁や壁、スラブなどの概算数量の精度が向上しました。

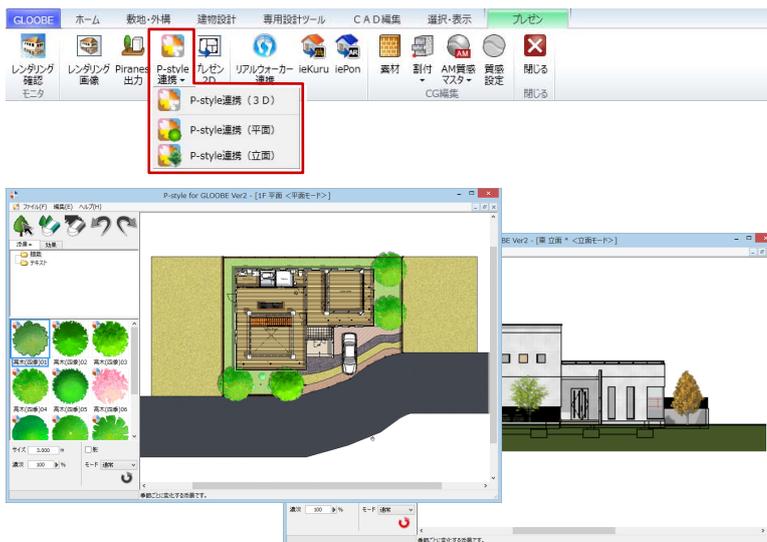


プレゼン

P-style 連携 (平面・立面)

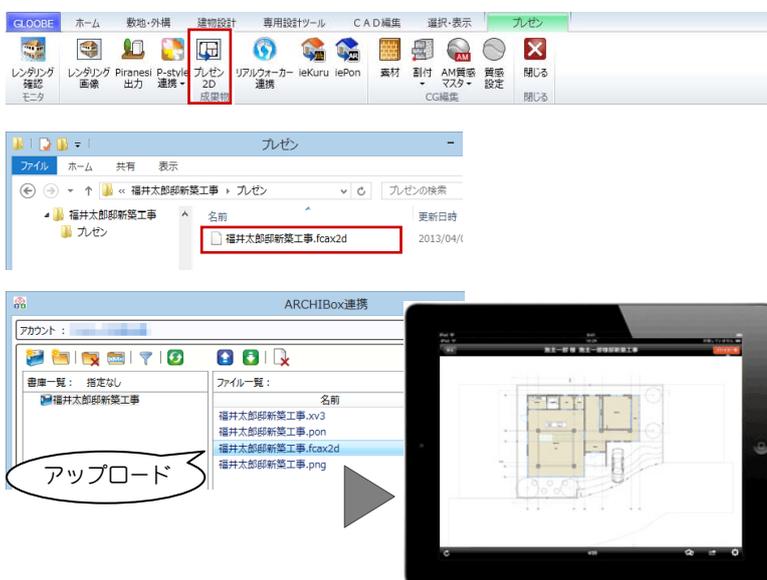
P-style の機能拡張に伴い、[P-style 連携 (平面)] [P-style 連携 (立面)] コマンドを新たに設け、カラー平面図やカラー立面図の連携データの作成に対応しました。

詳しい操作については、操作マニュアル「プレゼン編」を参照してください。



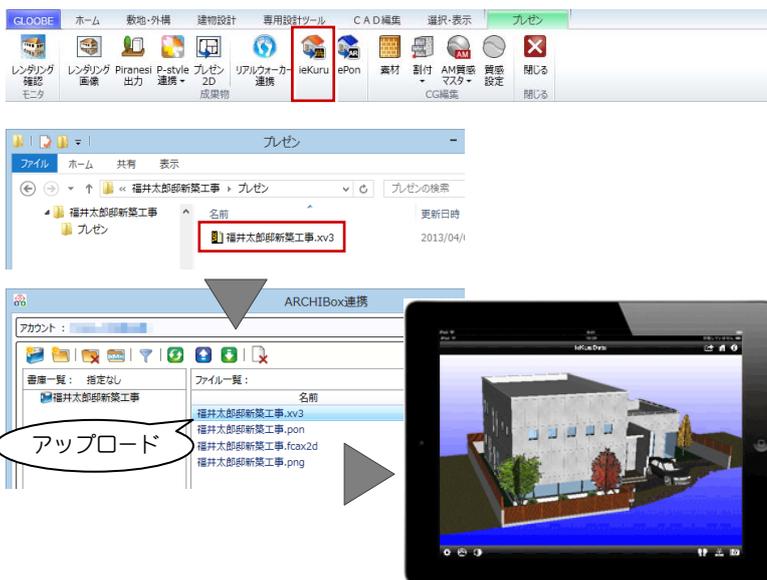
プレゼン 2D 書き込み

アクティブなビューのイメージを iPad 上で閲覧可能な 2D データに出力する機能を新設しました。平面図、立面図、断面図、展開図を、プレゼン用の画像データや Web 用 2DCAD データに変換することができます。
※ Web 用 2DCAD データ(*.fcax2d)は、「ARCHIBOX」でのみ閲覧可能です。「ARCHIBOX」については、次ページを参照してください。



ieKuru 書き込み

iPad で動作するアプリ「iekuru」で閲覧可能な 3D データを作成する機能を新設しました。モデルデータを iPad や iPhone で表示し、360 度あらゆる角度から自由に閲覧・確認することができます。
※「iekuru」のご利用には、App Store からのダウンロードが必要です。



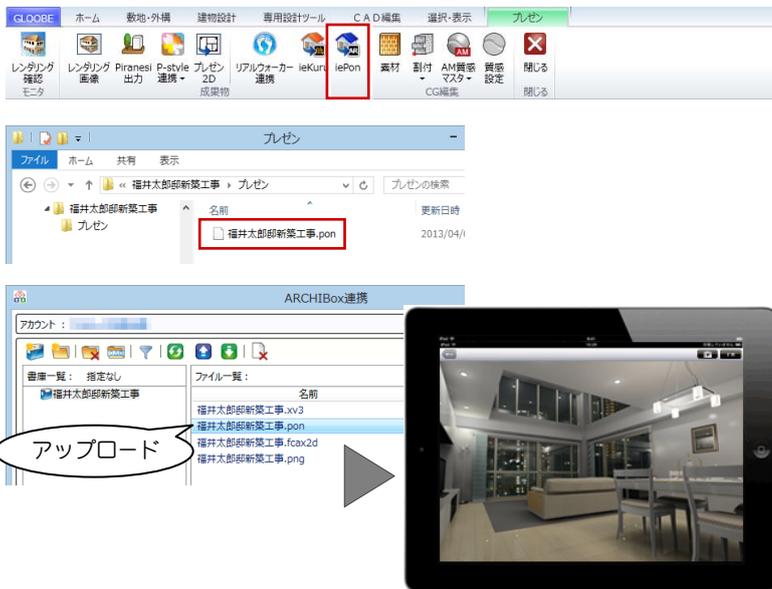
リアルウォーカー連携

リアルウォーカーの 64 ビット版プログラムに対応した連携データの作成が可能になりました。

iePon 書き込み

iPad で動作するアプリ「iePon」で閲覧可能な立体仮想データを作成する機能を新設しました。建築予定地に iPad や iPhone をかざすと、モデルの仮想データが表示され、街並みとの調和や室内からの眺望など完成イメージをより分かりやすく確認できます。

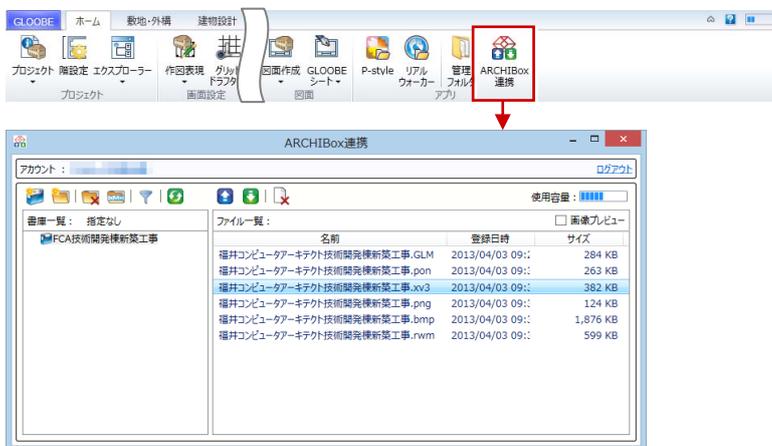
※ 「iePon」のご利用には、App Store からのダウンロードが必要です。



ARCHIBOX 連携

Web のデータ共有サービス「ARCHIBOX」にデータをアップロードする機能を新設しました。GLOOBE で作成した平面やパース画像、3D データを有効活用して、iPad 上でプレゼン提案できるようになります。

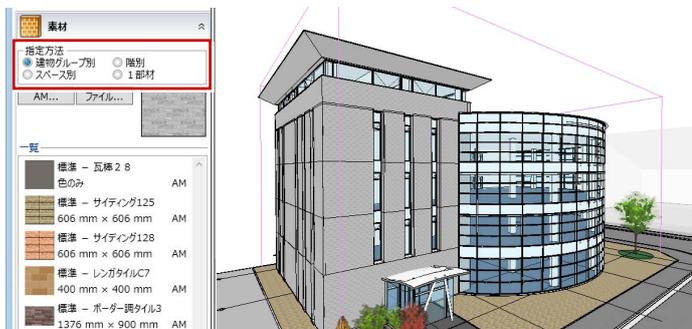
※ ARCHIBOX 連携のご利用には、「ARCHIBOX」のご契約が必要です。



素材の一括変更

同じオブジェクトで同じ種類の素材をまとめて変更できるようにしました。階別の変更や、内壁仕上または外壁仕上の一括変更など目的に応じて変更対象を切り替えることができます。

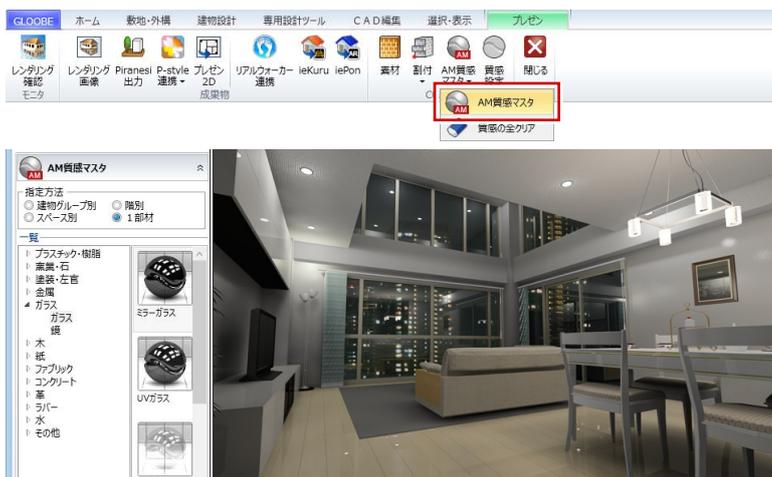
詳しい操作については、操作マニュアル「レンダリング編」を参照してください。



AM 質感マスタ

仕上の素材や建具、カーテンウォール、AM 部品に対して、AM 質感マスタを個別に設定できる機能を設けました。設定対象を、部材別、スペース別、階別など目的に応じて変更できます。

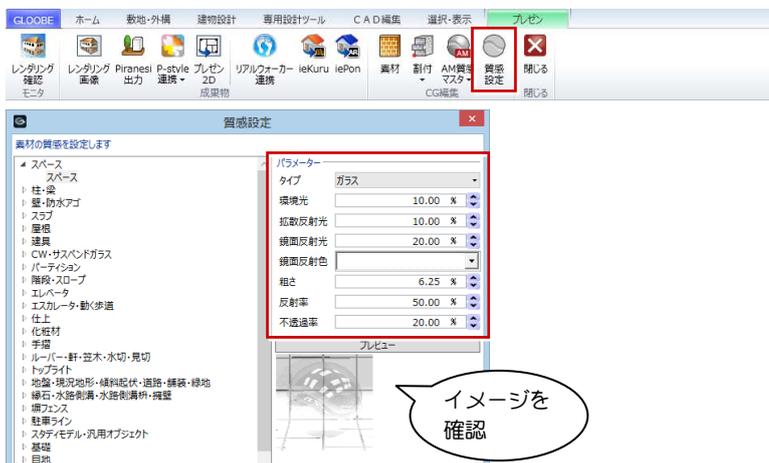
壁や床のミラー表現や、曇りガラスの表現が可能になり、よりリアルな画像を作成することができます。



質感設定の改良

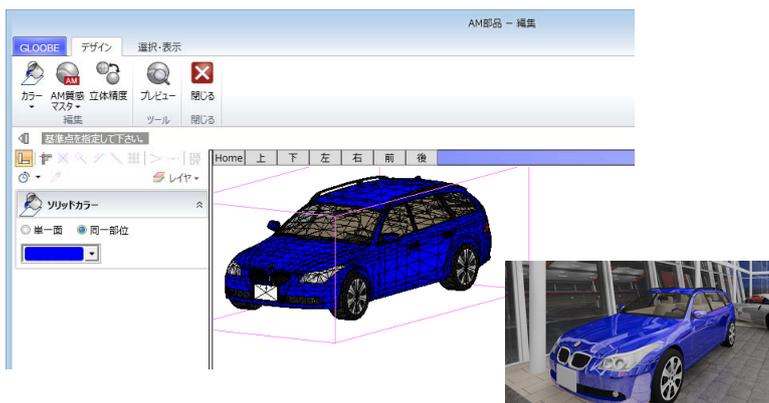
質感の設定内容が一目でわかるように、設定項目のレイアウトを見直しました。

また、プレビュー機能の追加により、イメージを確認しながらオブジェクトごとに素材の質感を設定することができます。



AM 部品編集

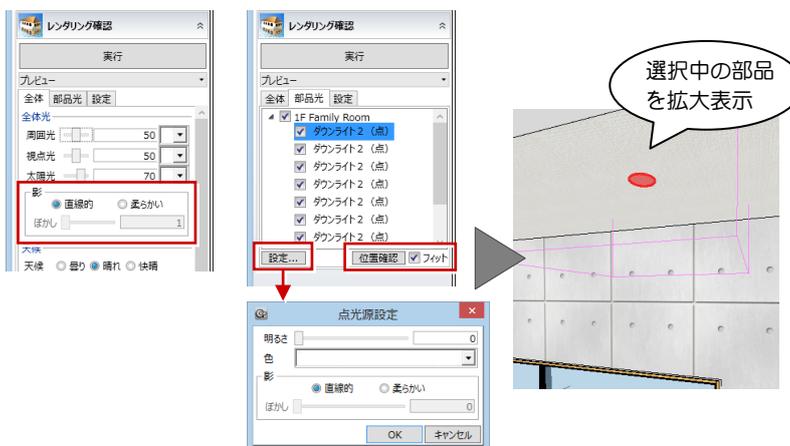
AM 部品の色や質感、曲面形状のなめらかさを設定できるようにしました。Archi Master を開かずに、モデルデータ内で使用中の AM 部品の色や質感を変更できます。



光源設定の拡張

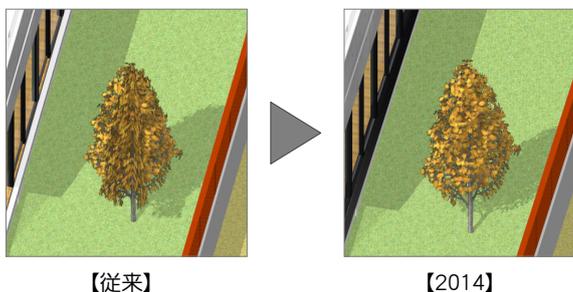
太陽光や部品光に影の設定を設けました。

また、複数の照明部品が配置されている場合に、選択中の照明部品が特定できるように [位置確認] コマンドを追加しました。選択中の照明部品のみを拡大表示することができます。



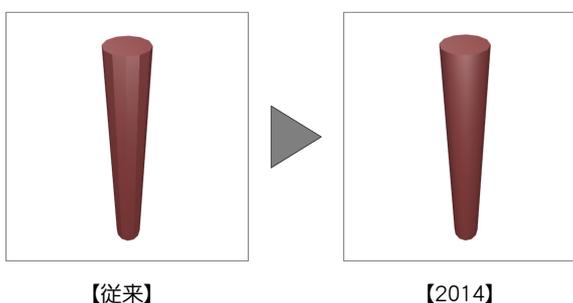
簡易樹木の描画改良

板状に表現されていた樹木のレンダリング処理を改良しました。なめらかで自然な樹木を表現できるようになりました。



円弧面の描画改良

円形の柱、円弧梁、円弧状のスロープや手摺など、円弧面のレンダリング処理を改良しました。よりなめらかな円弧表現ができるようになりました。



プロジェクト管理

新規作成

[インポート] メニューから行っていた JWW/JWC、DWG/ DXF、IFC、ST-Bridge、SIRCAD データの読み込みを、[新規作成] メニューから行うようにしました。IFC、ST-Bridge、SIRCAD データを読み込むときは、引き続き [プロジェクト] ダイアログが開きます。

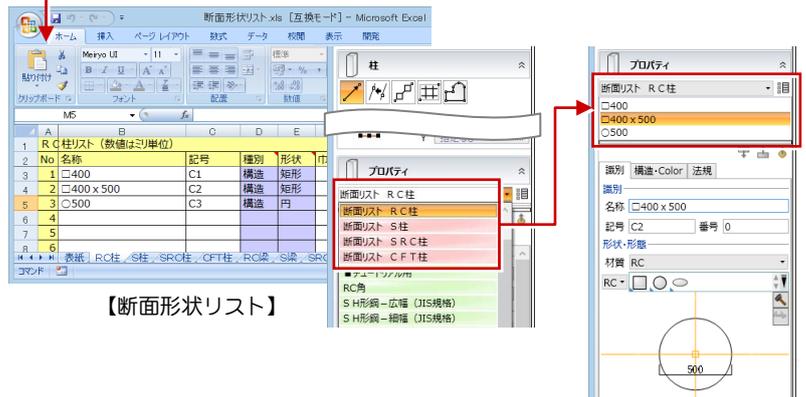


プロジェクト

モデルで使用したい仕様書や建具表などが設定できるようになりました。

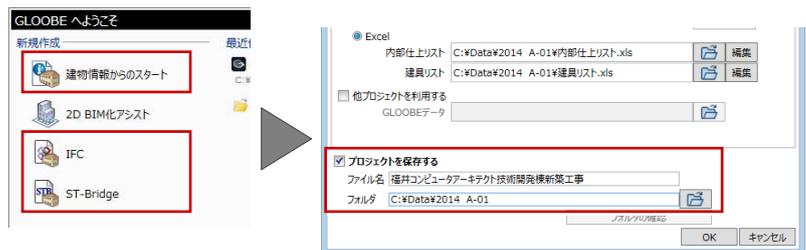
断面リストには、Excel ファイルの「断面形状リスト」、ST-Bridge ファイル、拡張 BS ファイルが使用可能です。柱や梁などの構造部材の入力時にリストの内容がテンプレートとして表示され、その部材情報をもったオブジェクトを入力できます。

その他、スペースの内部仕上情報を登録した「内部仕上リスト」、建具の名称やサイズなどを登録した「建具リスト」の使用が可能です。



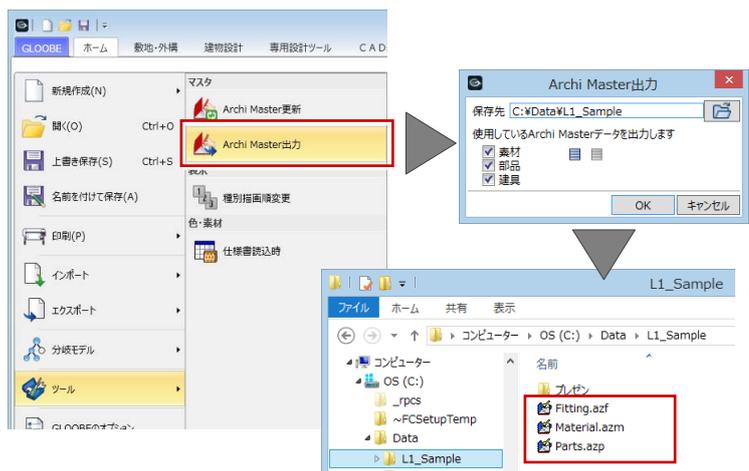
【断面形状リスト】

また、起動メニューや GLOBE ボタンの [新規作成] メニューからプロジェクトを作成した場合は、[プロジェクト] ダイアログで保存も行えます。



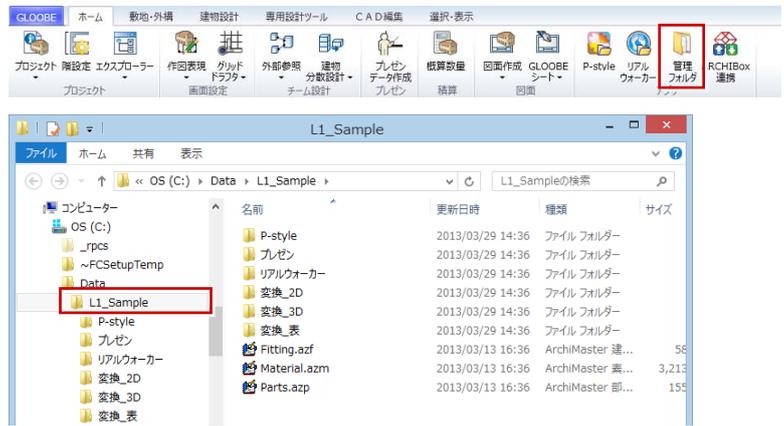
Archi Master 出力

モデルで使用している AM 素材、AM 建具、AM 部品マスタの出力に対応しました。モデルデータの受け渡しの際に、出力データも一緒に渡すことで、AM マスタのリンク切れを防ぐことができます。出力したマスタデータは Archi Master で取り込んで使用します。



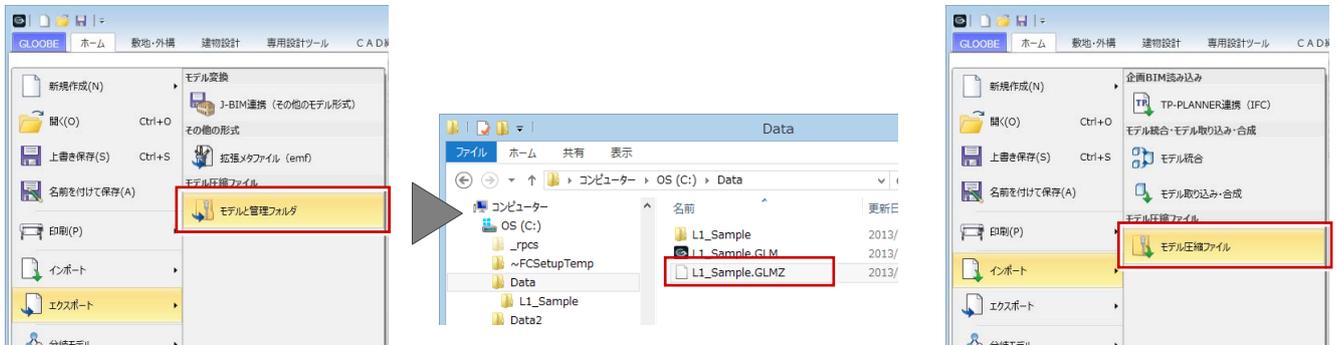
管理フォルダ

プレゼンデータや Excel ファイル出力、モデルデータのエクスポートなどを行う際に、モデルデータと同名の管理フォルダを自動作成し、出力先の初期値として設定されるようになりました。出力データが同一フォルダ内に保存されるため、管理や検索がしやすくなります。



モデルと管理フォルダ

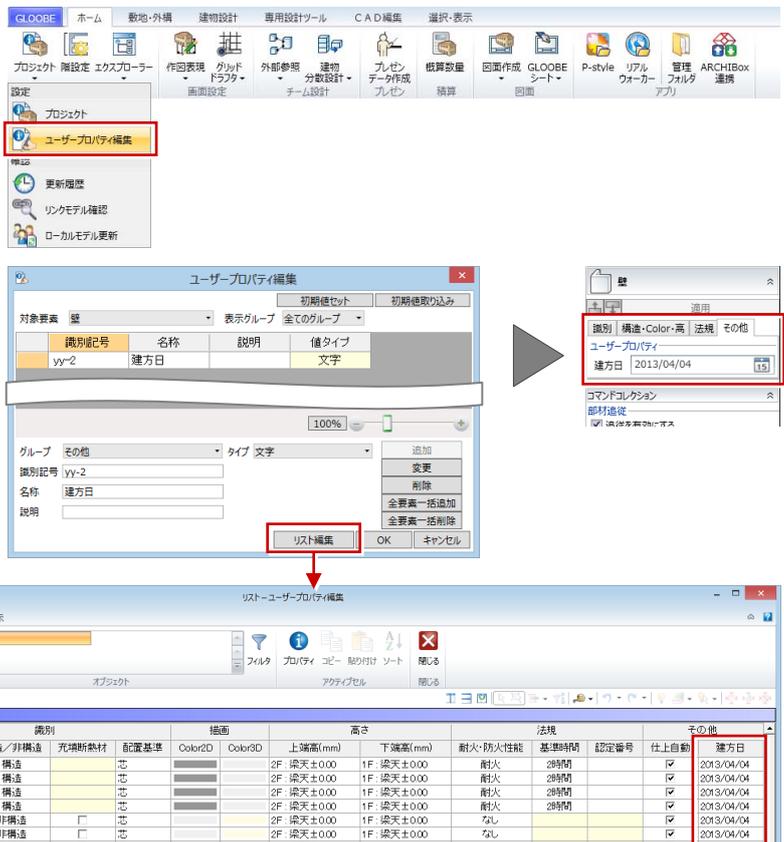
モデルデータと管理フォルダを圧縮、また圧縮ファイルを取り込むコマンドを新設しました。



ユーザープロパティ編集

モデルデータごとに、任意のプロパティ項目の追加や編集が行えるコマンドを新設しました。設定したプロパティ項目をすべてのオブジェクトに追加したり、[リスト編集]にてオブジェクトのプロパティ情報をまとめて編集することも可能です。

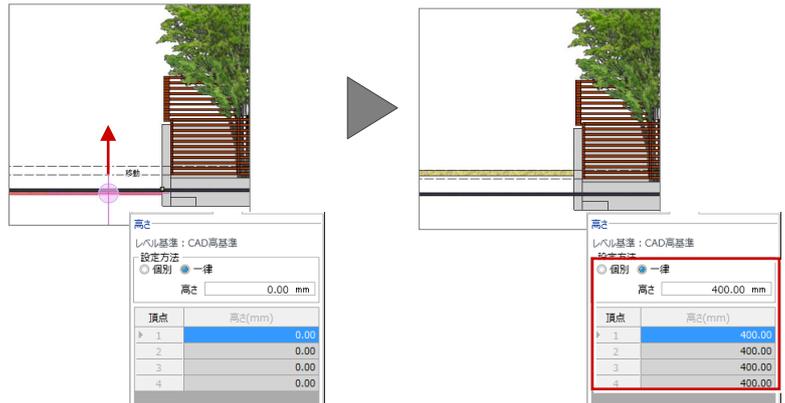
設定したユーザープロパティを他のモデルデータでも使用したい場合は、[初期値セット] [初期値取り込み]を使用します。これにより、GLOBBEのオプションにあった [ユーザー設定:要素] の設定はなくなりました。



敷地・外構

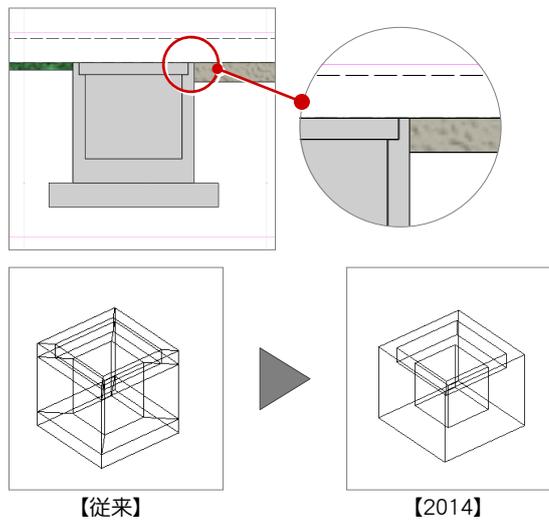
舗装・緑地の立面移動

立面ビュー・断面ビューで、道路や舗装、緑地の高さをマウス操作で変更できるようにしました。
 周辺建物の高さを確認しながら、道路や敷地の高さを設定することができます。



水路側溝柵の立体表示の改良

立ち上がり部分を壁厚の半分で作成するように改良しました。
 また、不要な稜線は出さないよう描画を改良しました。

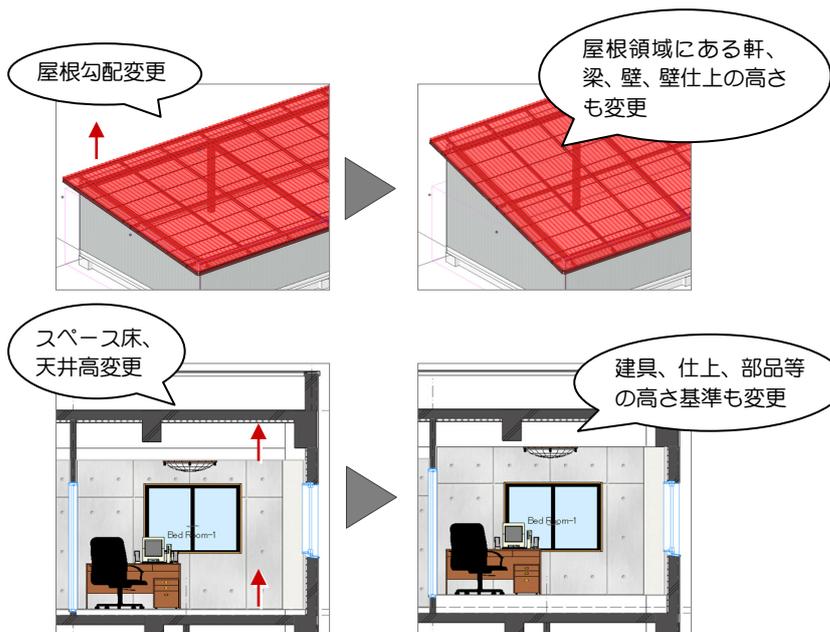


建物設計

高さ編集

スペースや屋根などの高さを変更した際に、それらに付随するオブジェクトの高さも一緒に変更するよう改善しました。

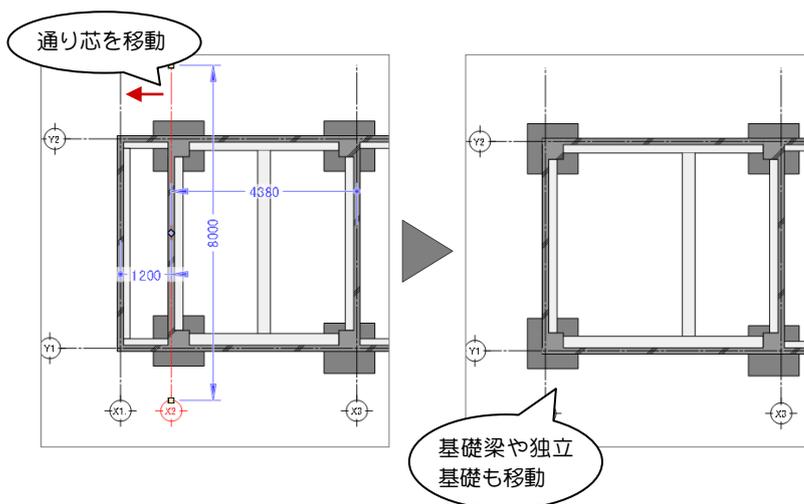
高さ編集の対象となるオブジェクトについては、資料「部材の追従条件」を参照してください。



平面編集の拡張

平面編集の対象オブジェクトに基礎部材を追加しました。通り芯や基準芯を移動した時に、基礎部材も一緒に移動するようになりました。

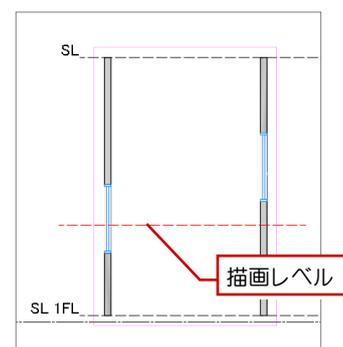
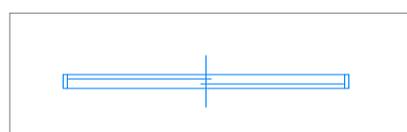
平面編集の対象となるオブジェクトについては、資料「部材の追従条件」を参照してください。



オブジェクト描画の改良

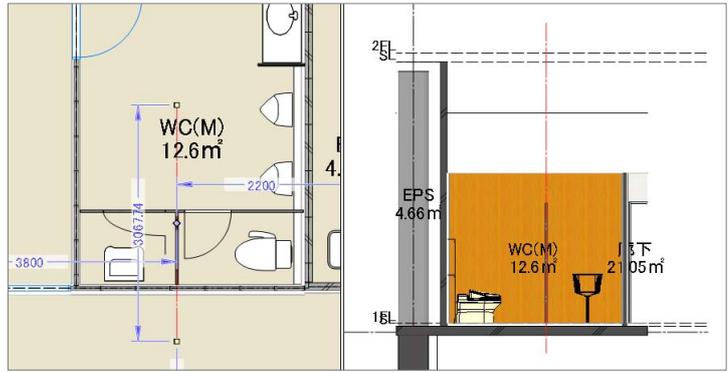
建具や梁など、平面ビューのオブジェクト描画を、描画レベルに応じて識別できる対象を増やしました。描画レベルより上に位置するオブジェクトは点線で表示されるので、建具などのオブジェクトが描画レベルに対して上側・下側のどちら側にあるのかがわかりやすくなります。

また、描画レベルに FL 基準も選べるようになりました。



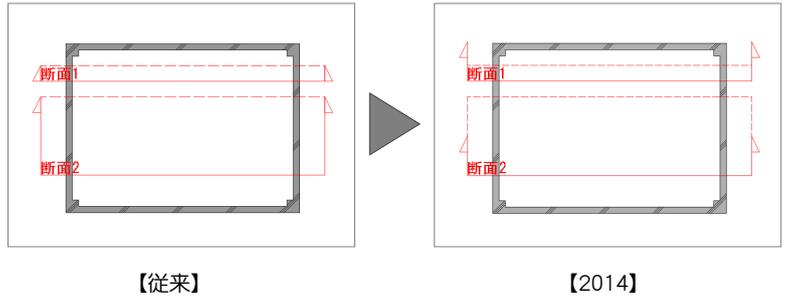
断面ビューに基準芯を描画

断面ビューや展開ビューに平面ビューで入力した基準芯を描画できるようにしました。



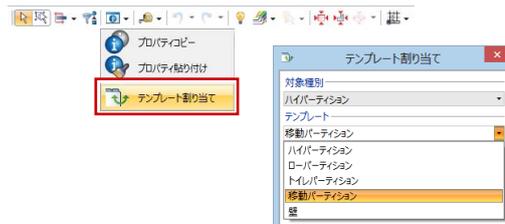
立面線・断面線の改良

立面線・断面線の矢印・矢印からの延長線を固定し、奥行き方向のみ破線で表示するようにしました。立面線や断面線の奥行きが短い場合でも、建築図として一般的な形状が保てるようになりました。



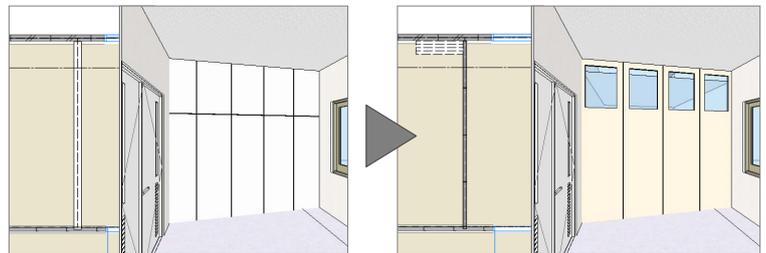
テンプレート割り当て機能の拡張

テンプレート割り当て機能を拡張し、ハイパーパーティションを移動パーティションに変更したり、床スラブをべた基礎に変更したりできるようになりました。



■別オブジェクトへのテンプレート割り当てが可能なオブジェクト種別

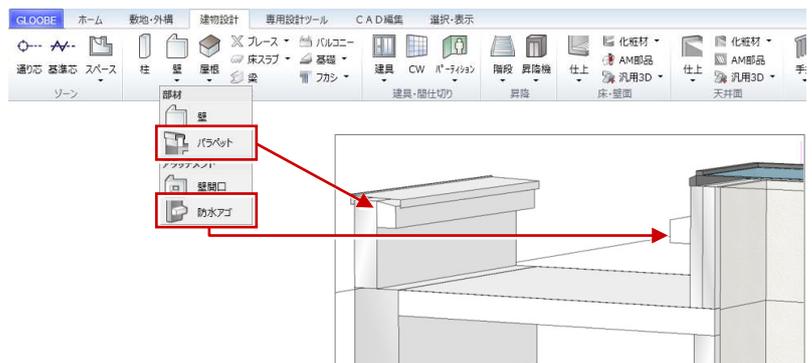
床スラブ、べた基礎、金属・防水系屋根（陸・傾斜）、壁、カーテンウォール、サスペンドガラス、ハイパーパーティション、ローパーティション、トイレパーティション、移動パーティション



建物設計：躯体・仕上・金物

パラペット・防水アゴ

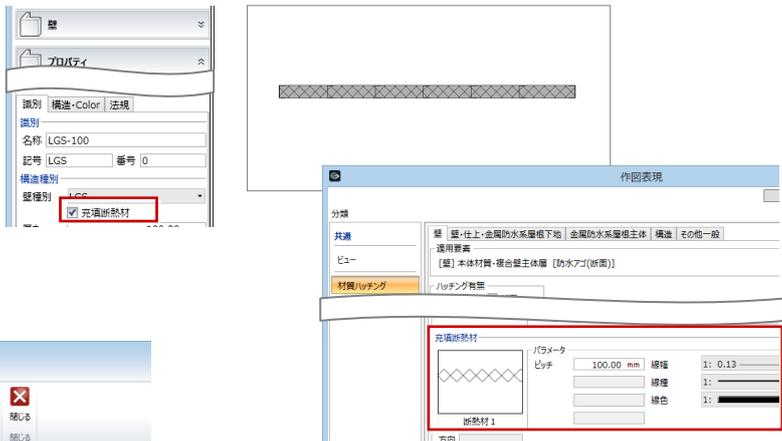
【建物設計】タブの【壁】メニューに【パラペット】【防水アゴ】コマンドを新設しました。専用コマンドを設けることで、自由なデザイン設計や仕様の設定が可能になりました。



充填断熱材の描画

平面ビューでLGS・C鋼縦・C鋼横・木壁、またそれらの複合壁に充填断熱材を描画できるようになりました。充填断熱材の描画については、作図表現で設定します。

オブジェクトリストで、充填断熱材の面積や体積を集計することも可能です。

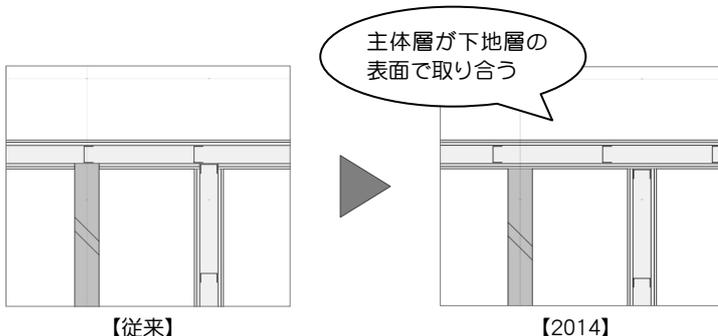


表示項目		階	識別	名称	mm	高さ延長(mm)	周長(外立面)(mm)	周長(内立面)(mm)	体積(m³)	充填断熱材面積(m²)	充填断熱材体積(m³)	フカシ
1F	LGS-100	50.00	4000.00	18100.00	18100.00	2.02	20.20	2.02				
	LGS-100	50.00	4000.00	13700.00	13700.00	1.14	11.40	1.14				
	LGS-100	50.00	4000.00	18100.00	18100.00	2.02	20.20	2.02				

T字壁の取り合い描画の改良

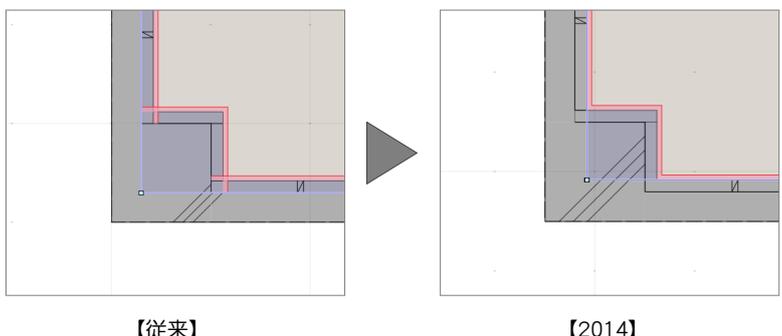
壁がT字に取り合う場合に、主体層と下地層との取り合いを調整できるようになりました。

突き当たる壁の端点が、相手の主体層にある場合は従来通り主体層が取り合い、相手の下地層にある場合は下地層の表面で止まります。



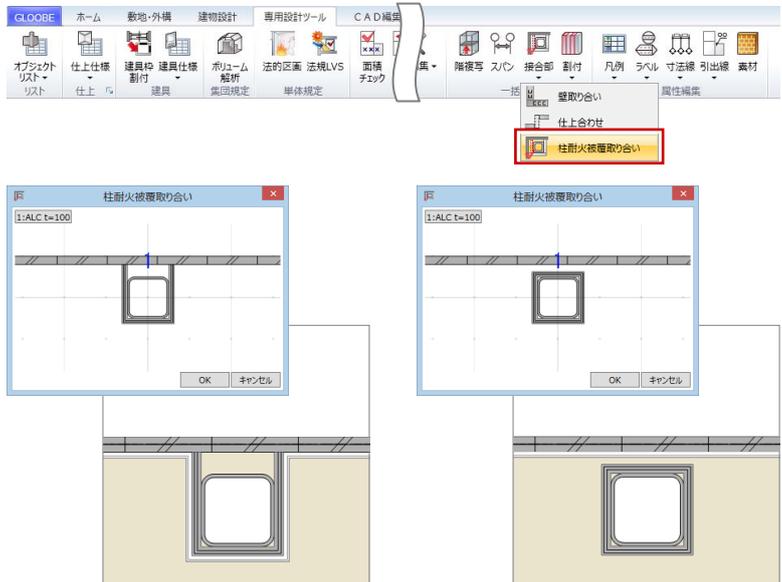
柱まわりの取り合い描画の改良

柱まわりに壁がある場合の仕上の取り合い描画を改良しました。仕上が交差することなく配置され、概算数量の精度が向上しました。



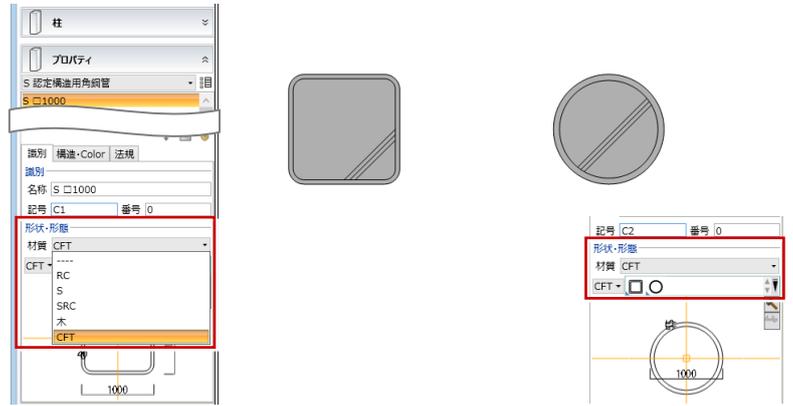
柱耐火被覆取り合い

柱の耐火被覆と壁が取り合う部分を編集するコマンドを新設しました。近接する壁に、耐火被覆を延長するかしないかを設定できます。



CFT 柱

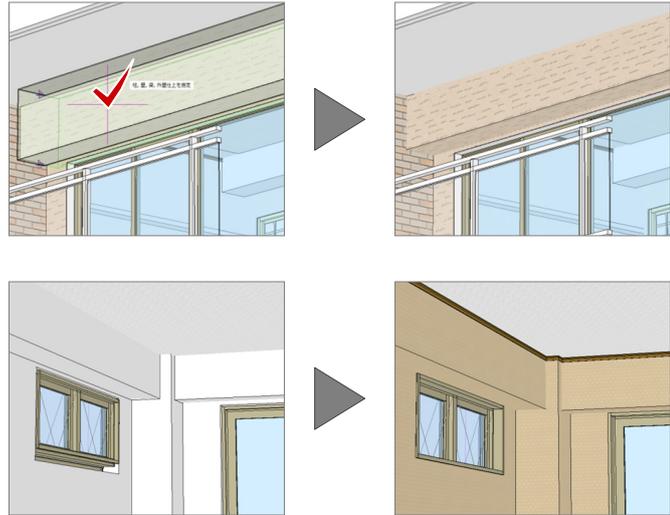
CFT 柱（コンクリート充填鋼管構造柱）の描画に対応しました。CFT 柱を含む外部の構造部材データの読み込みも可能です。



梁型壁仕上

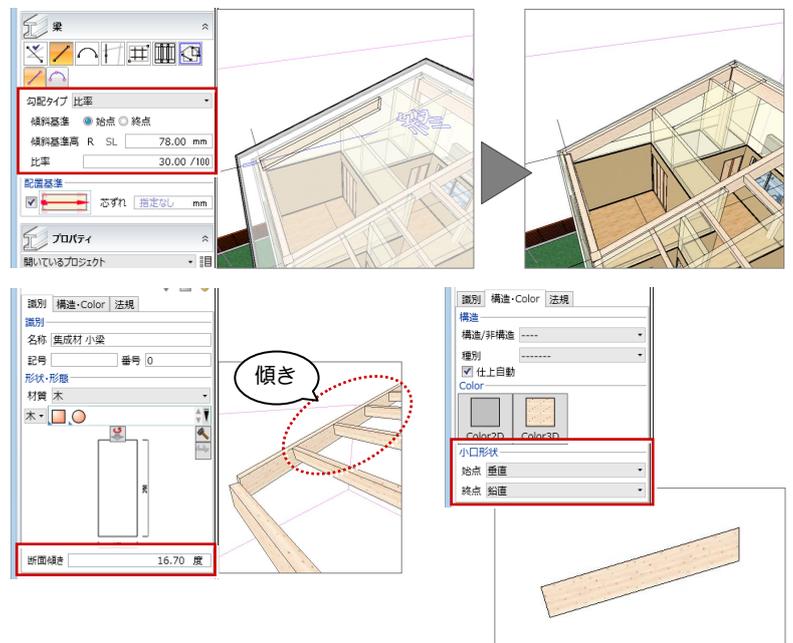
梁に仕上を配置できるようにしました。パース作成時の編集の手間が省けます。

仕上の自動配置では、梁のプロパティ [構造・Color・高] タブの [仕上自動] が ON の場合に配置されます。

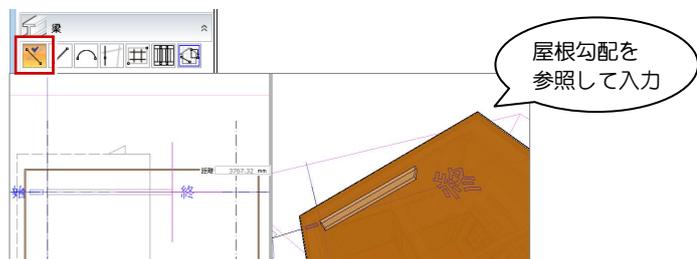


梁表現の拡張

梁の設定に、[勾配タイプ] [断面傾き] [小口形状] の設定を追加しました。梁の多彩な表現が可能になりました。

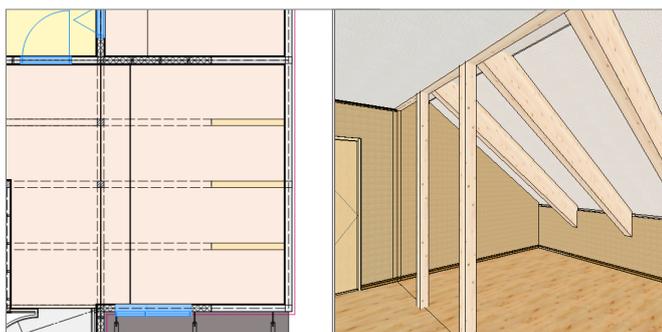


また、入力モードに、他の部材の勾配を参照して梁が配置できる [勾配高さ参照] を追加しました。



見上げ入力・表示の対応

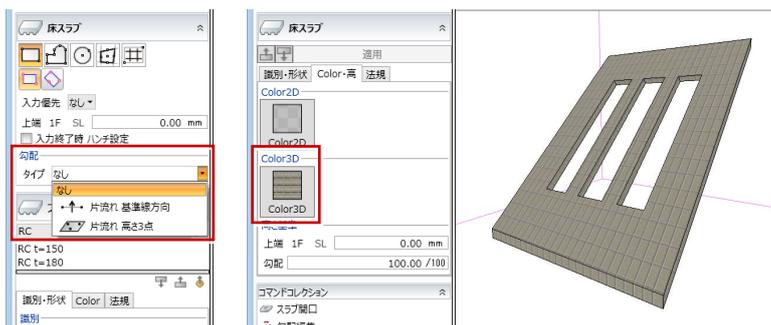
梁やスラブ、水平ブレースの見上げ入力や表示に対応しました。登り梁などの入力が簡単にできるようになりました。



スラブ表現の拡張

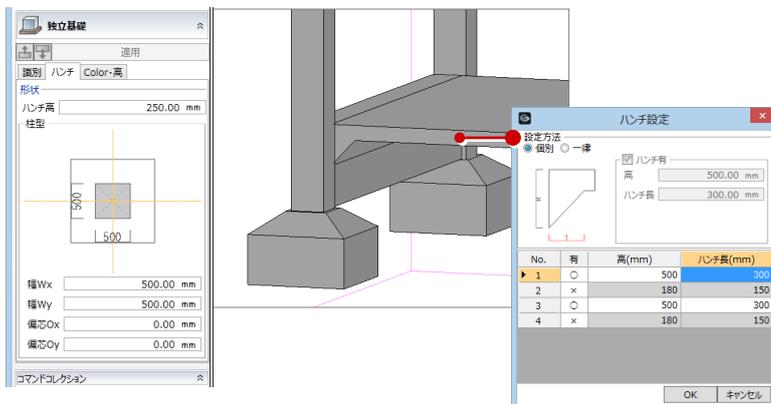
床スラブの入力時に勾配を指定できるようにしました。SIRCAD や ST-Bridge などの構造部材データや IFC データの勾配スラブも読み込みます。

また、スラブのテクスチャ表現を可能にしました。多彩なスラブ表現が可能になりました。



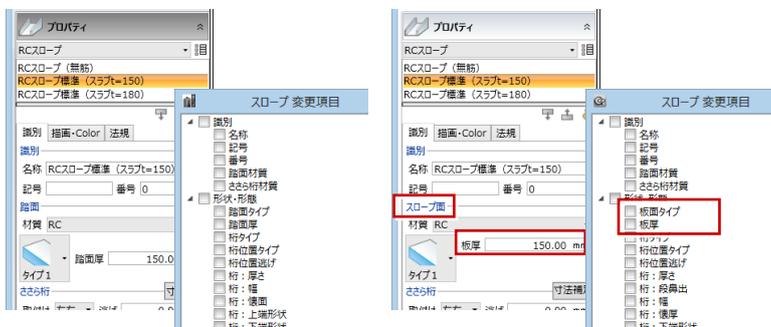
ハンチ設定

スラブやべた基礎、独立基礎などにハンチの設定を設けました。躯体設計の自由度が向上しました。



スロープのプロパティ項目名の見直し

スロープのプロパティ項目の名称で、[踏面] を [スロープ面]、[踏面厚] を [板厚] に変更しました。また、一括変更の際の項目名称で、[踏面タイプ] を [板面タイプ]、[踏面厚] を [板厚] に変更しました。

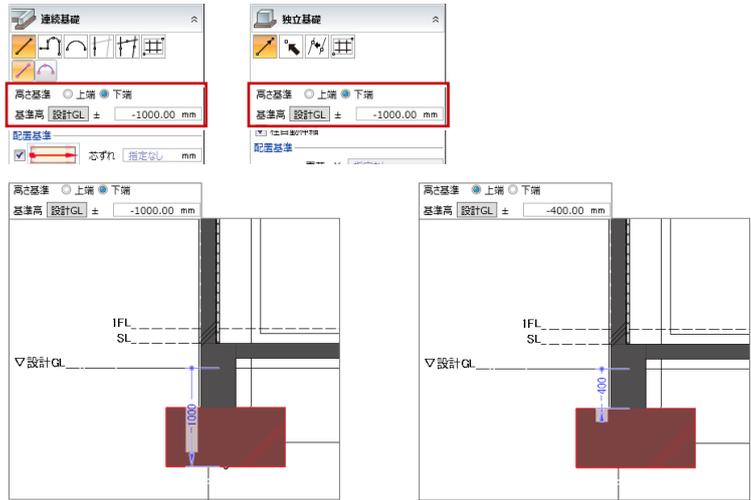


【従来】

【2014】

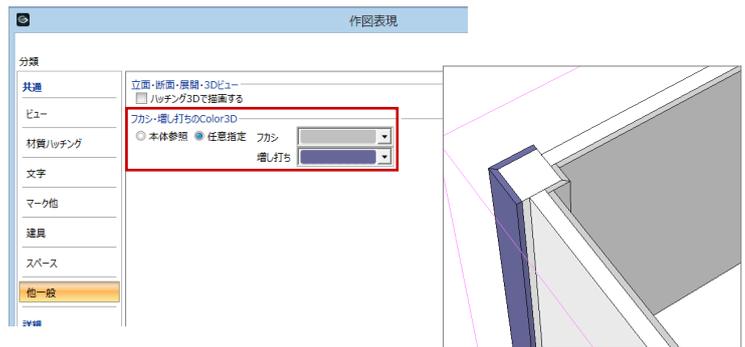
基礎の高さ基準設定

連続基礎、独立基礎の高さ基準に上端を設定できるようにしました。基礎上端から寸法を追い出すことができます。



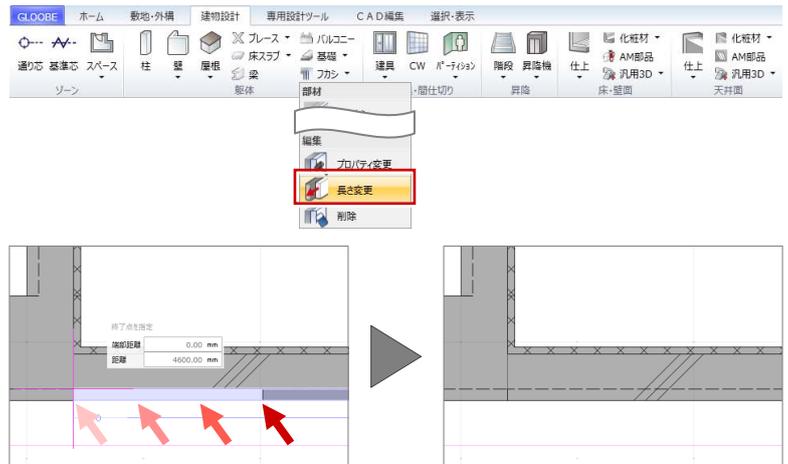
フカシ・増し打ちの色設定

3Dビューでのフカシ・増し打ちの色を設定できるようにしました。作図表現で任意の色を設定できます。フカシ、増し打ちを色分けできるため、配置状況が確認しやすくなりました。



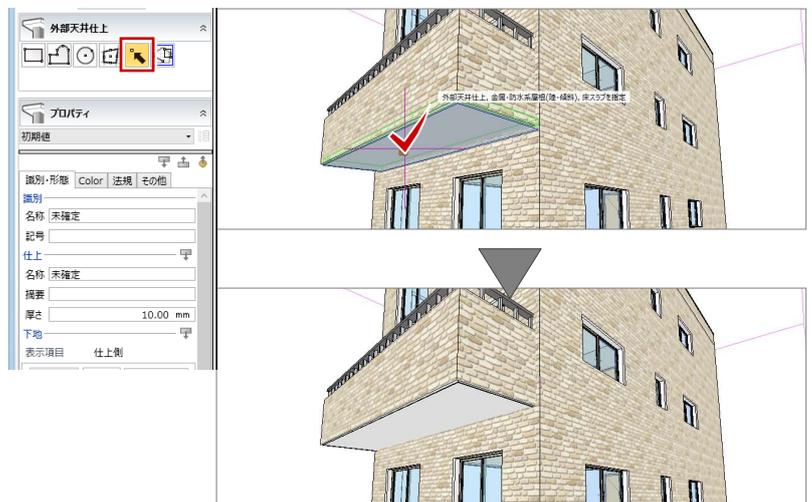
フカシ・増し打ちの長さ変更

フカシ・増し打ちの長さを変更するコマンドを新設しました。設計変更で壁の長さが変わった場合など、編集の手間を軽減することができます。



外部天井仕上の拡張

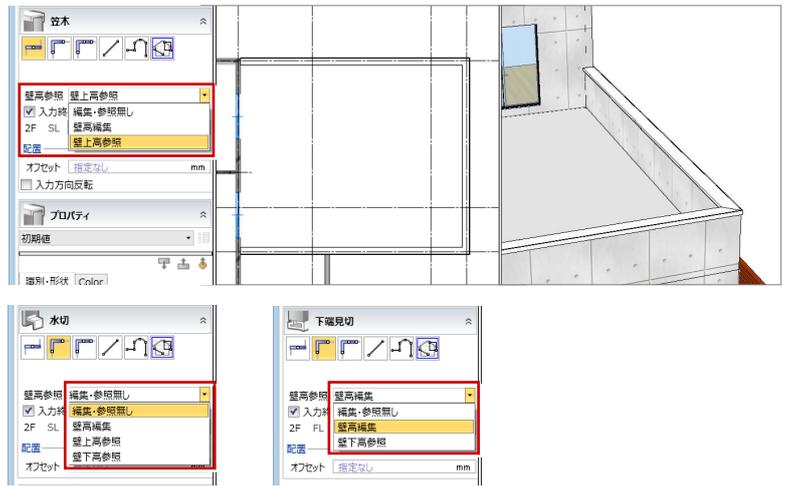
外部天井仕上の入力モード「面指定」の対象に床スラブを追加しました。バルコニーを配置した場合など、スラブの下側に天井仕上を簡単に貼ることができます。



壁参照入力

笠木・水切・下端見切・防水アゴを、入力済の壁を参照して入力できるようにしました。高さ設定の手間が省けて便利です。

また、階段の手摺笠木も入力済の壁上端高を参照して入力できます。

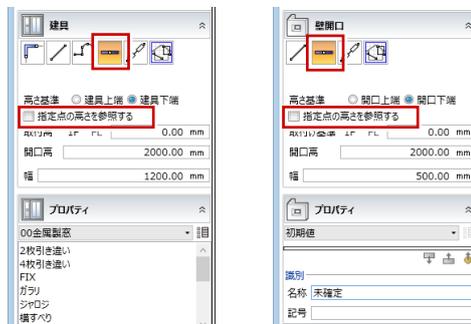


建物設計：建具・間仕切り

1点指定入力

建具や壁開口の入力モードに「1点指定」を追加しました。建具や壁開口をワンクリックで任意の位置に手早く配置できます。

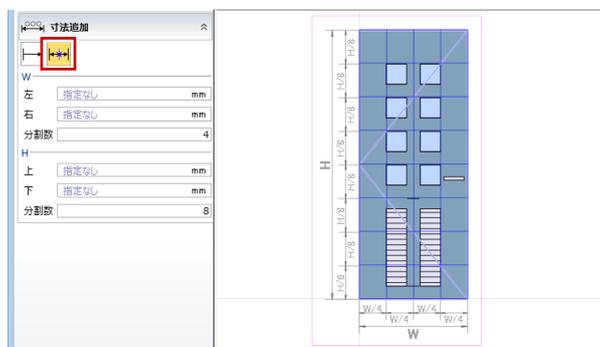
「指定点の高さを参照する」にチェックをつけると、平面ビューではアクティブ階のFL高、3Dビューではマウスのクリック位置が指定点高となります。



寸法追加の拡張

「寸法追加」コマンドに、「W・H分割」モードを追加しました。

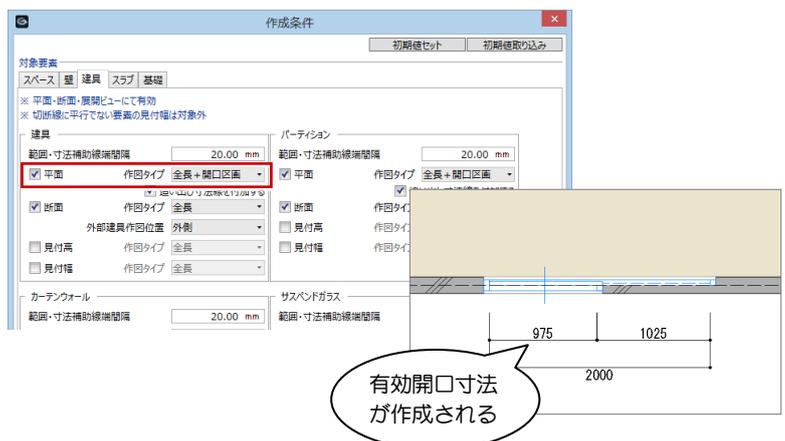
建具幅 (W) や建具高 (H) を任意に分割し、分割したラインを基準に寸法を固定できます。詳細な寸法固定が可能になりました。



引き戸系建具の詳細寸法線の改良

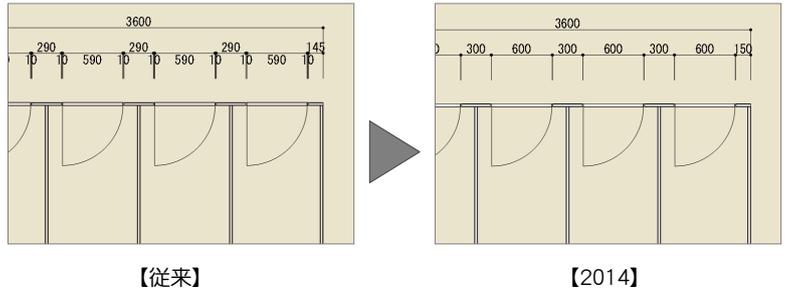
引き戸系の建具の詳細図寸法線に有効開口寸法を作画するように改良しました。

作成の対象となる建具は、片引き戸、引き分け戸 (袖付き・ハンガー含む)、引き込み戸、両引き込み戸です。

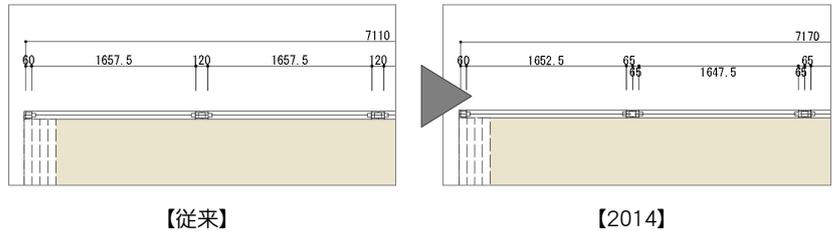


パーティションの詳細寸法線の改良

ハイパーパーティション・ローパーティション・トイレパーティションの詳細寸法線を、目地芯で作図するように改良しました。

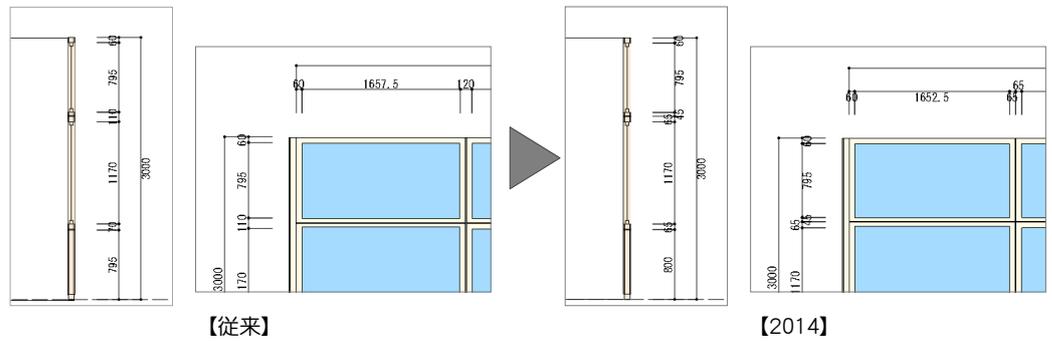


また、移動パーティションの詳細寸法線も、目地芯からの寸法を作成するように改良しました。



パーティションの断面寸法線の改良

カーテンウォール、各パーティション、サスペンドガラスの断面寸法線を、指定断面位置での構成寸法線を作成するように改良しました。

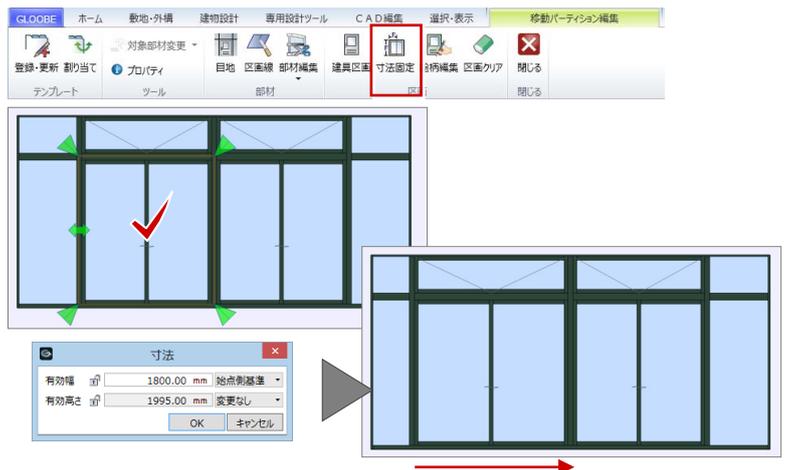


移動パーティション編集の強化

移動パーティション編集に[目地] [区画線] [部材分割] [部材削除] [部材クリア]コマンドを新設しました。一枚のスライドパネルに複数の建具区画がある移動パーティションを作成できます。

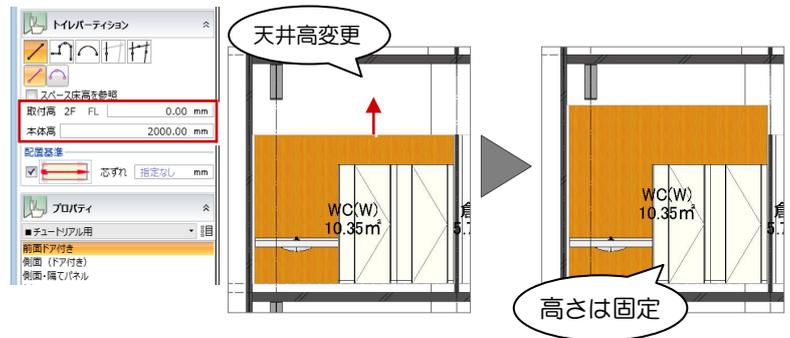


また、[移動パーティション編集] に [寸法固定] コマンドを新設しました。有効幅や有効高さを指定して寸法を固定することができます。



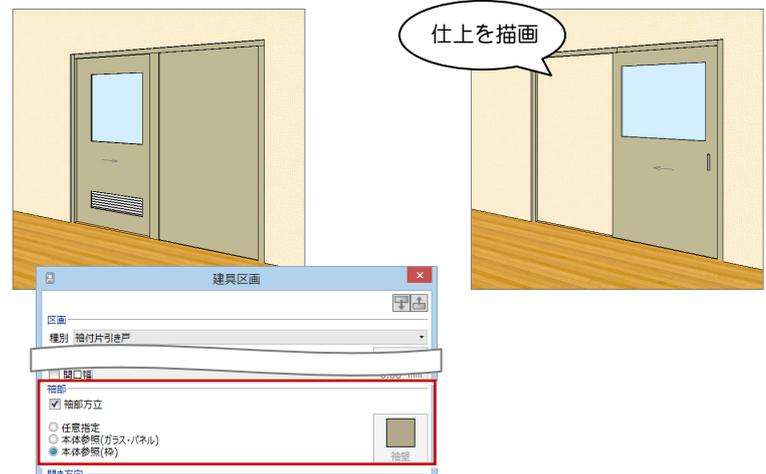
パーティションの高さ設定の改良

トイレパーティション・ローパーティションの高さを [取付高] と [本体高] で設定するように変更しました。スペースの高さに変更があった場合でも、パーティションの高さは変わりません。



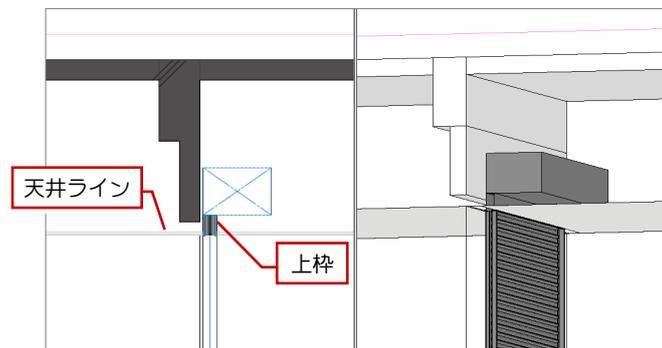
引き戸系建具の描画改良

袖付引き戸に方立が設定できるようになりました。方立は、建具編集の建具区画で設定します。また、引き戸の引き部に仕上がが描画できるようになりました。



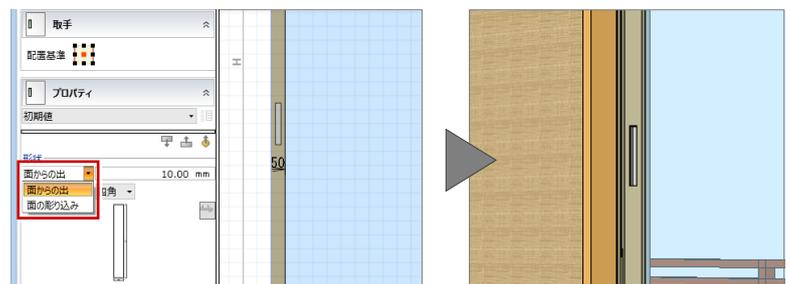
シャッターケースの描画改良

シャッターケースが上方にオフセット描画されるよう改良しました。シャッターケースの上枠が天井内に隠れるようになります。



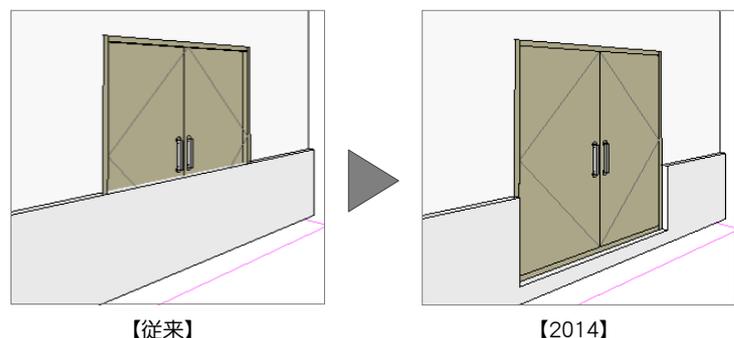
取手の描画改良

建具絵柄の取手で、彫り込みタイプに対応しました。建具表現の幅が広がります。



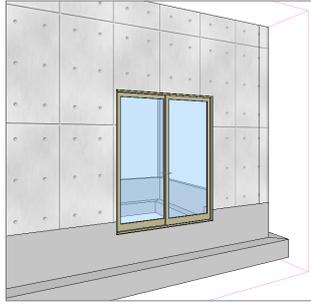
腰壁の開口部の描画改良

RCの腰壁に ALCの壁が入力されている場合など、厚み・種別の異なる壁をまたいで建具や壁開口を入力した場合に、壁の開口が正しく処理されるように改良しました。



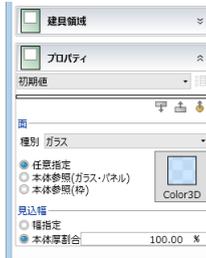
連続基礎の開口部の描画改良

連続基礎の立ち上がり部分に建具や壁開口の下端がかかる場合に、基礎の開口が正しく処理されるように改良しました。



建具領域

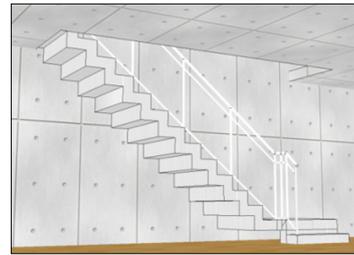
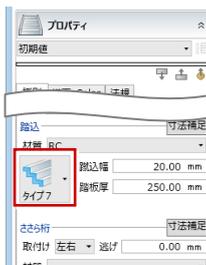
建具領域のプロパティが設定しやすくなるように、設定項目のレイアウトを見直しました。



建物設計：階段・手摺

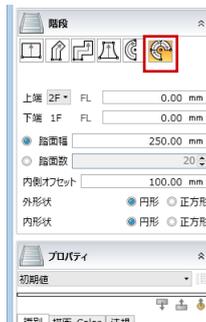
RC 階段の拡張

RC 階段に「タイプ7」を追加しました。RC 段形スラブ階段の描画が可能になりました。



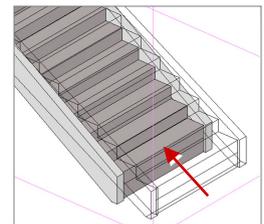
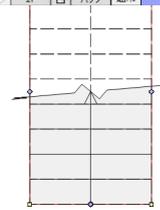
踊り場付きの螺旋階段・スロープ

階段・スロープの入力モードに「螺旋+踊場」を追加しました。踊り場付きの螺旋階段やスロープの入力が可能になりました。



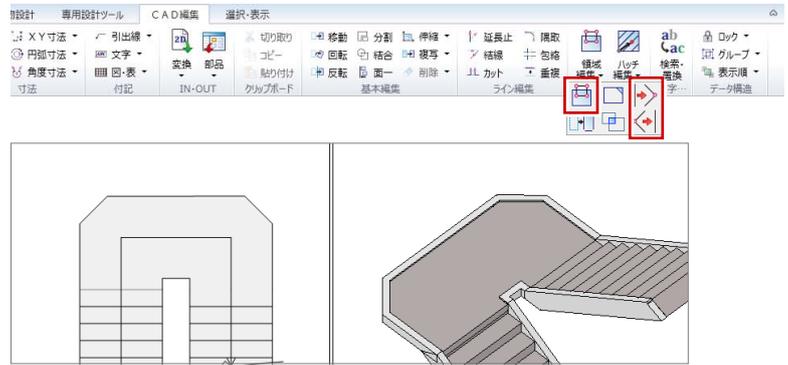
階段の踏面寸法

階段編集で、階段の踏面寸法を設定できるようにしました。階段の詳細な寸法設定が可能になりました。



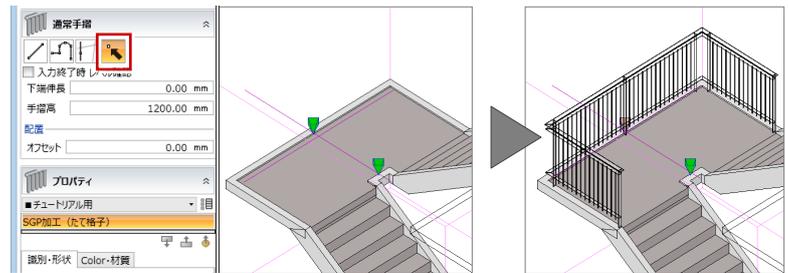
階段踊り場の領域編集拡張

階段踊り場の領域編集で[領域プラス・マイナス] [頂点追加] [頂点削除] コマンドを使用できるようになりました。角面取りや丸面取りなど、踊り場の領域を自由に編集できるようになりました。

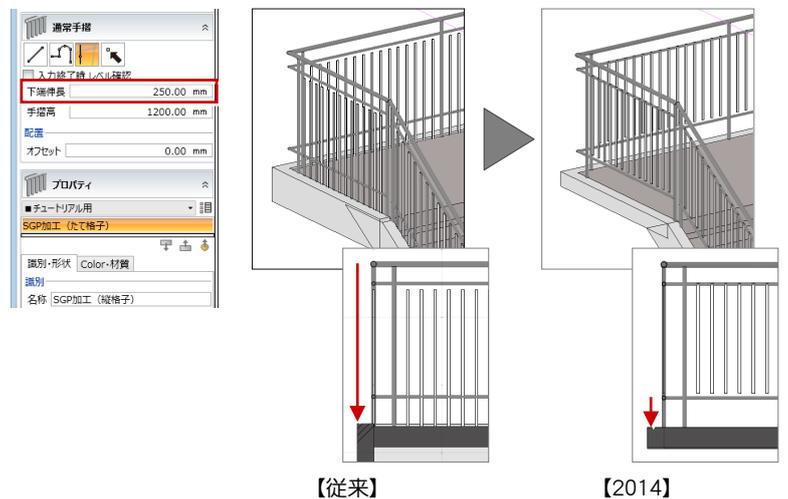


階段手摺の入力強化

通常手摺や手摺壁の入力モードに[ささら面指定]を追加しました。ささら辺を参照して手摺を入力できます。入力可能な位置がマーク表示され、入力したいマークにマウスポインタを合わせると、マークの色が変わって手摺の立体データが表示されます。入力位置がわかりやすくなりました。

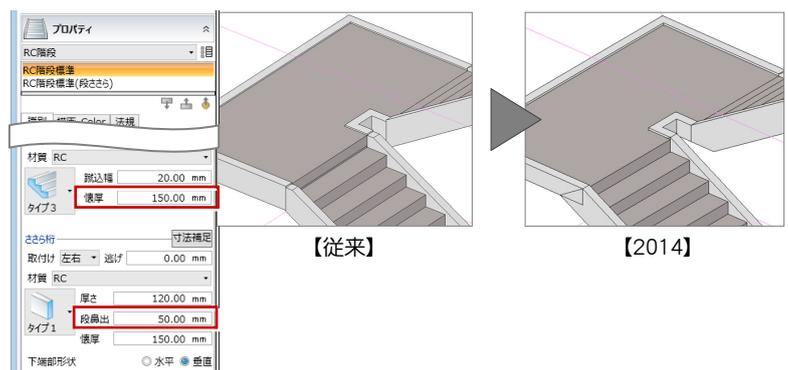


また、階段手摺の入力時に下端伸長する場合、支柱の下端のみを延長するようにしました。立体データの描画精度が改良されました。

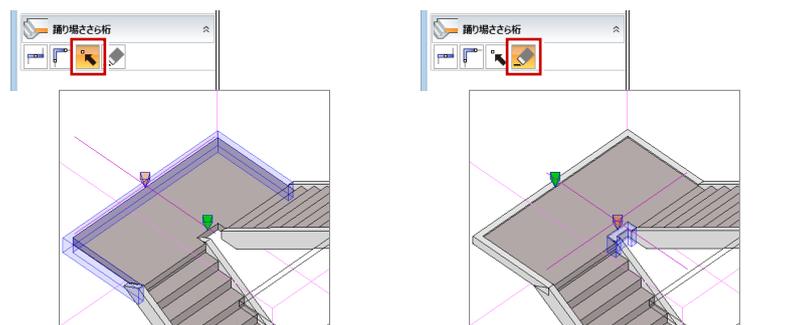


ささら桁の入力強化

プロパティ項目の名称で[懐面]を[懐厚]、[幅]を[段鼻出]に変更しました。また、すべてのささら桁で[段鼻出]を設定できるようになりました。立体データでのささらのスレが解消され、ささら表現が改良しました。



また、踊り場ささら桁の入力モードに[1点指定]を追加しました。入力可能な位置がマーク表示され、入力位置がわかりやすくなりました。

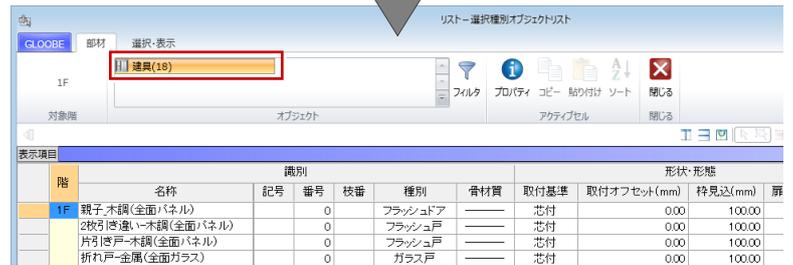


また、削除の場合も、削除可能なささら桁がマーク表示されます。削除対象のささらが識別しやすくなりました。

専用設計ツール

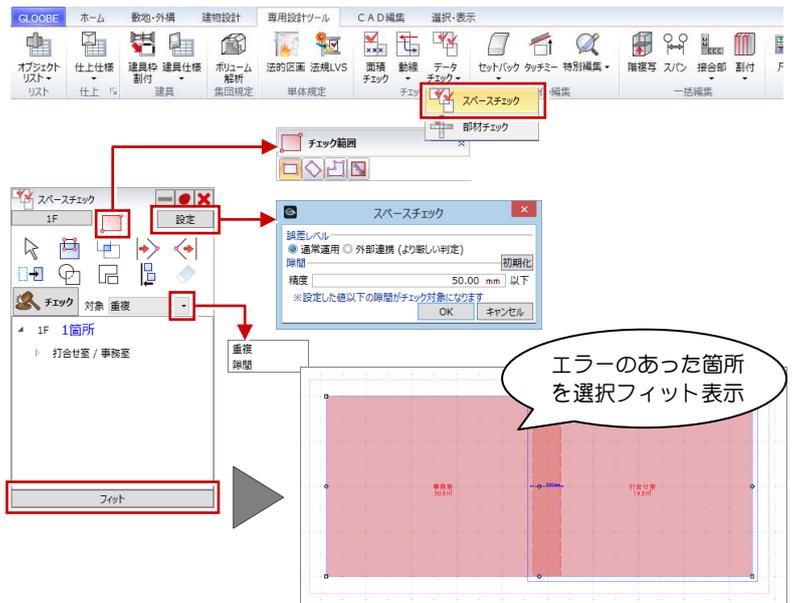
選択種別オブジェクトリスト

選択したオブジェクト種別のみをリスト表示するコマンドを新設しました。入力部材の数多くてオブジェクトリストの表示に時間がかかる場合、目的のオブジェクト種別のみを表示できるので確認がしやすくなります。



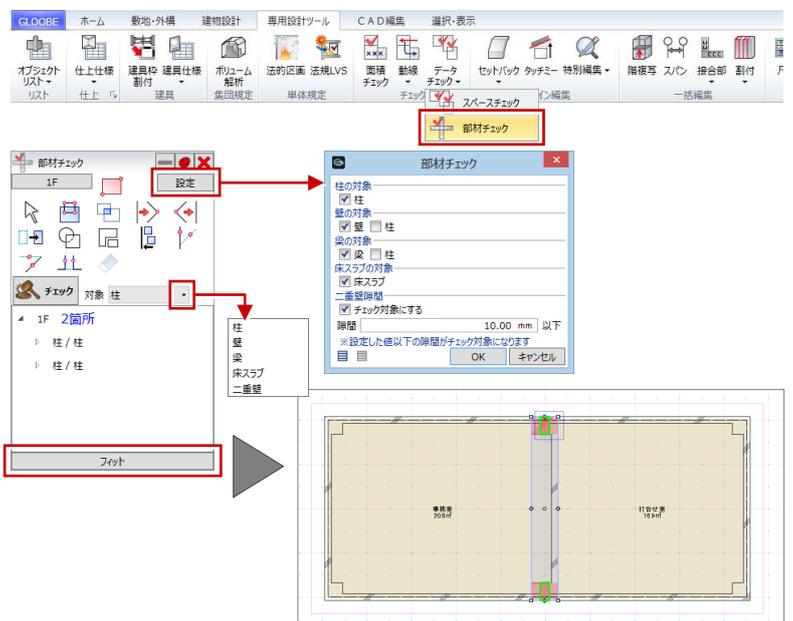
スペースチェック

スペースの重複と隙間をチェックする機能を新設しました。エラーのあった箇所が一覧表示されます。また、コマンド内の編集機能を使ってエラー部分の修正も可能です。



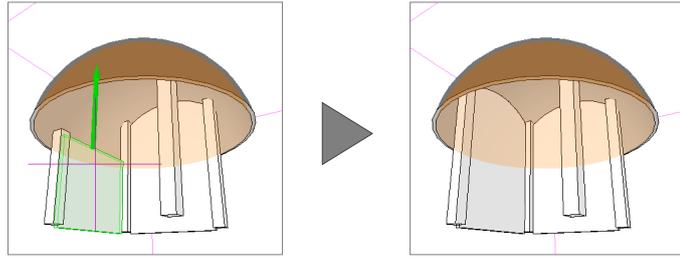
部材チェック

柱、壁、梁、床スラブ、二重壁の重複をチェックする機能を新設しました。対象を切り替えて、重複のあった箇所を一覧で確認することができます。また、コマンド内の編集機能を使って重複データの修正も可能です。



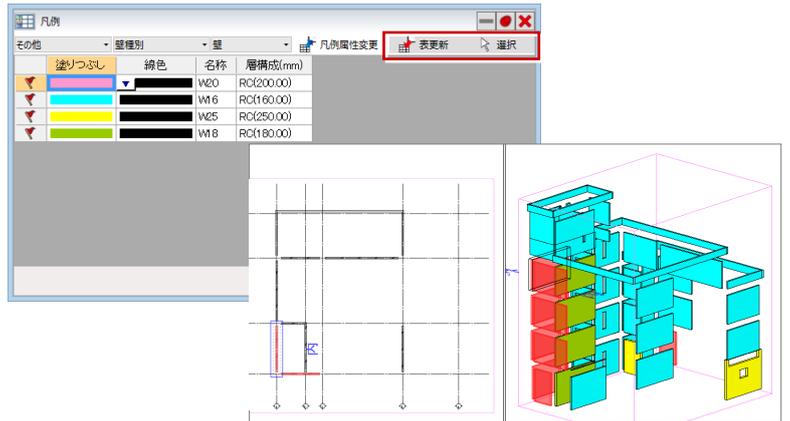
タッチミーの拡張

タッチミーの対象部材に、金属・防水系屋根（錐形／ドーム）とガラス系屋根を追加しました。すべての屋根でタッチミー編集が可能になりました。



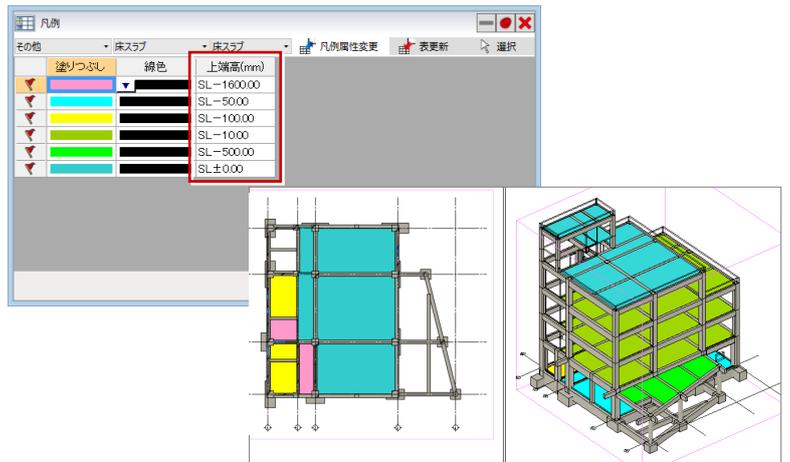
凡例の属性別表示と選択

入力済みのオブジェクト情報を凡例表に取り込む機能を追加しました。事前に凡例のテンプレートを作りこまなくても、入力済みの内容から必要な項目だけを塗りつぶしてプロパティを確認・変更できます。また、属性別にオブジェクトを一括選択できる機能を追加しました。まとめてプロパティの変更が可能です。



凡例で高さの対応

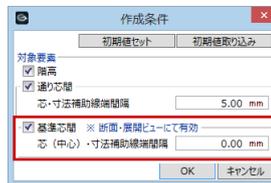
高さ情報をもとに、凡例でオブジェクトの配置状態を確認できるようになりました。



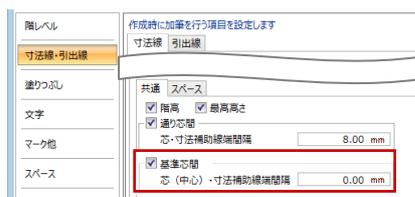
基準芯間寸法線

断面ビュー・展開ビューで基準芯間の寸法線を作図できるようにしました。

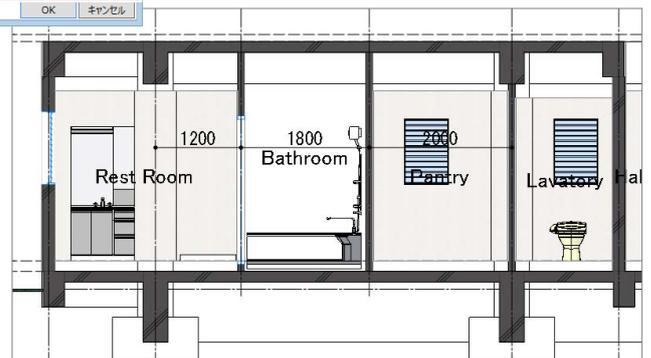
※ 図面・シートでも同様です。



【断面図
作図表現】



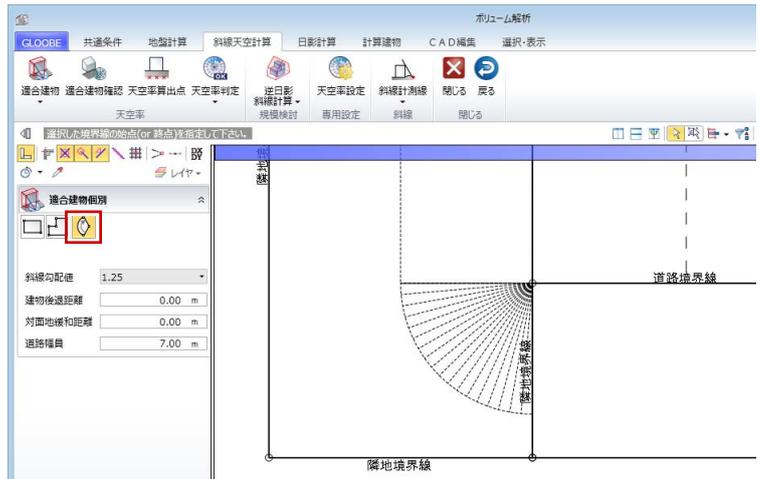
【展開図
作図表現】



ポリウム解析

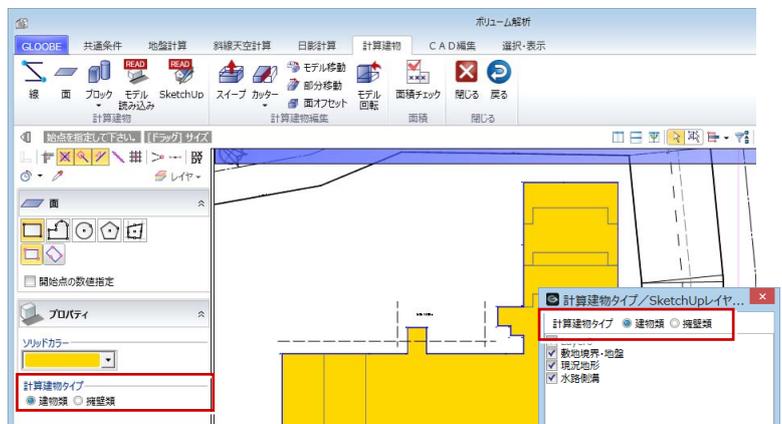
回り込み適合建物

「適合建物個別」コマンドの入力モードに「回り込み適合建物」を追加しました。境界線の端点から適合建物を円弧入力できます。敷地と隣地によって、道路入隅点が出る場合でも、回り込み適合建物が簡単に入力できます。



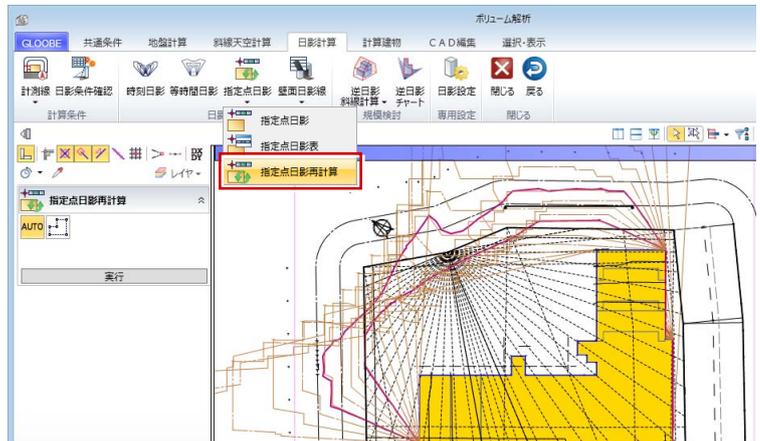
計算建物タイプ

計算建物の個別入力や SketchUp データの読み込みの際に、計算建物タイプを「建物類」または「擁壁類」から指定できるようにしました。天空率算定の対象とする計算建物で、後退距離内にある擁壁、門、塀等は、「計算建物タイプ」を「擁壁類」に設定しておく、建物後退距離を算出するときに対象から除外されて「建物類」の計算建物までの距離が算出されます。



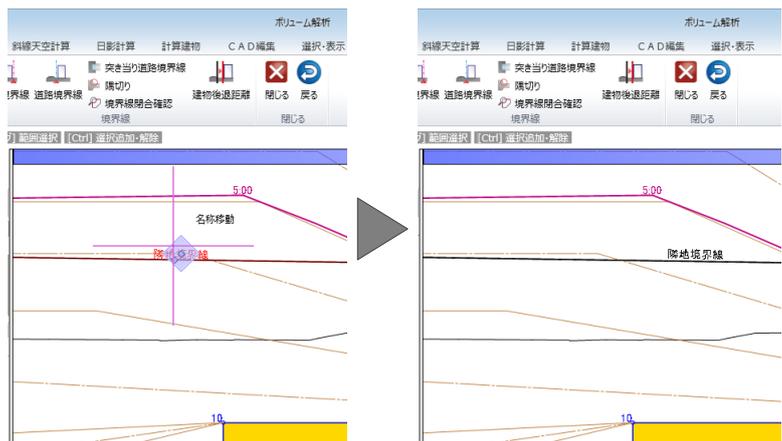
指定点日影再計算

配置済みの指定点日影を再計算できるようにしました。計算建物の形状や指定点の日影時間に変更があった場合など、簡単に再計算できます。



敷地境界線の文字移動

配置済みの「道路境界線」「隣地境界線」「隅切り境界線」の文字を移動できるようにしました。文字と線の重なりが解消され、文字が見やすくなります。

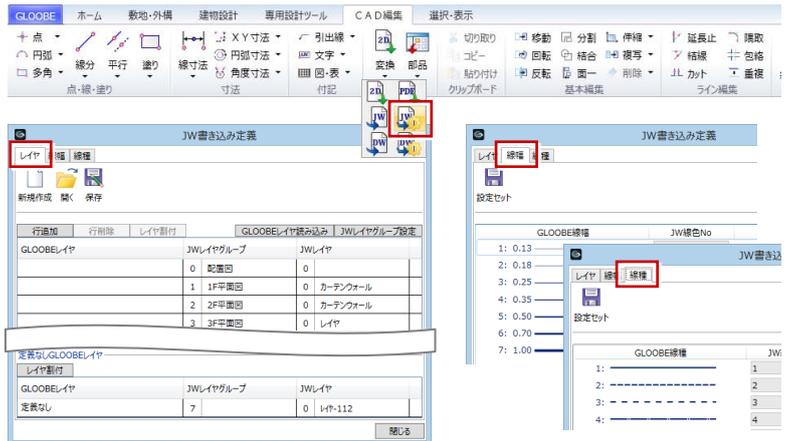


CAD 編集

JW 書き込み定義

JWW データへ書き込む際の、レイヤや線種、線幅の割り当てを可能にしました。設定した内容をファイル保存し、書き込み時にそのファイルを指定して JWW データへ変換します。細かな書き込み設定ができるようになり、データ変換の精度が向上しました。

また、[出力後、アプリケーションを起動する] を ON にした場合は、書き込み終了後に Jw_cad が起動します。

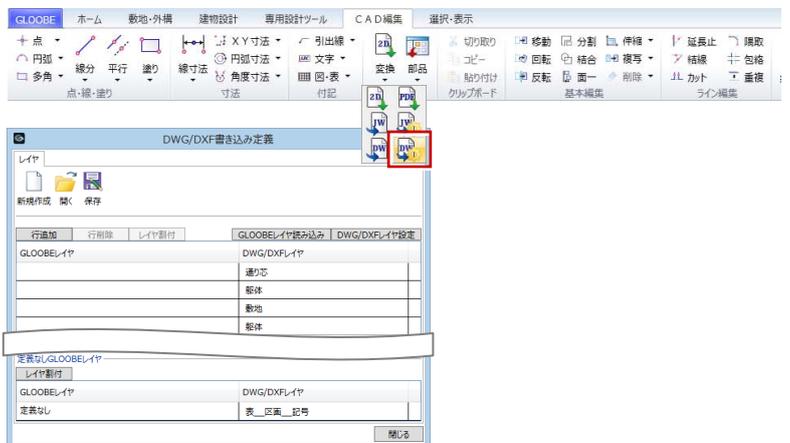


DWG/DXF 書き込み定義

DWG/DXF データへ書き込む際の、レイヤの割り当てを可能にしました。設定した内容をファイル保存し、書き込み時にそのファイルを指定して DWG/DXF データへ変換します。

また、[出力後、アプリケーションを起動する] を ON にした場合は、書き込み終了後にアプリケーションが起動します。

※ 線種・線幅については、プログラム固定です。

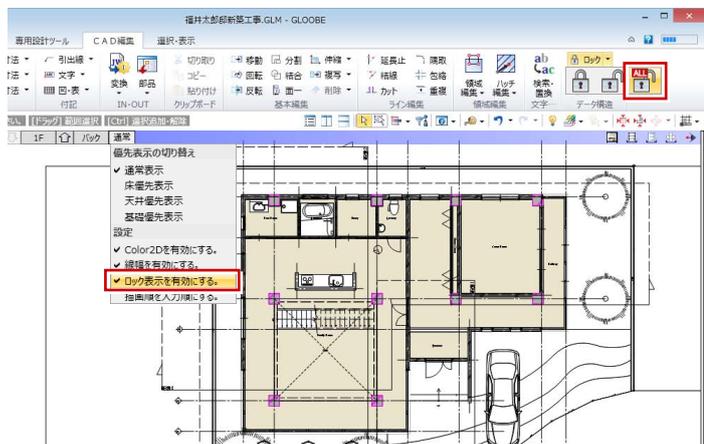


ロック機能の改良

ロック中のオブジェクトを色で識別できるようにしました。

また、ロック中のすべての要素を全解除できるコマンドを新設しました。ロックの解除漏れに有効です。

ロックされているデータの色は、[GLOBE のオプション (CAD 環境)] にて設定できます。



グループ化機能の改良

すでにグループ化されたオブジェクトを他のオブジェクトとグループ化する場合、確認メッセージを表示して、重複してグループ化できないようにしました。

また、グループ化されているすべての要素を全解除できるコマンドを新設しました。グループ化の解除漏れを防ぎます。



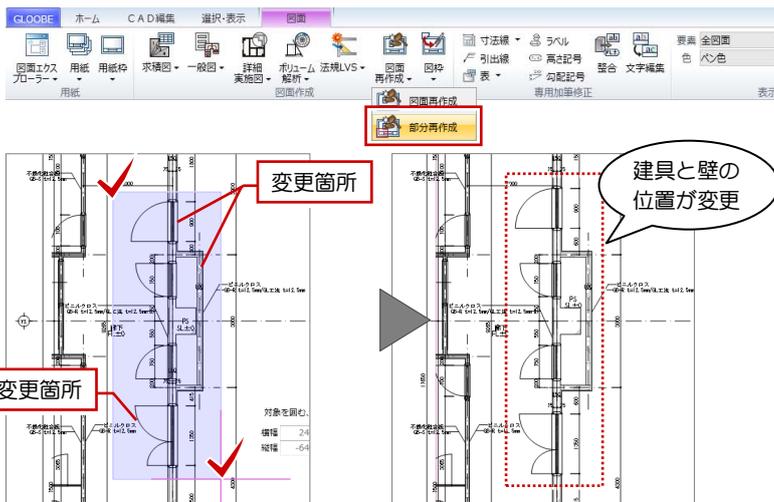
図面／シート

図面部分再作成

作成済図面に対し、指定範囲内を自動再作成できるようにしました。

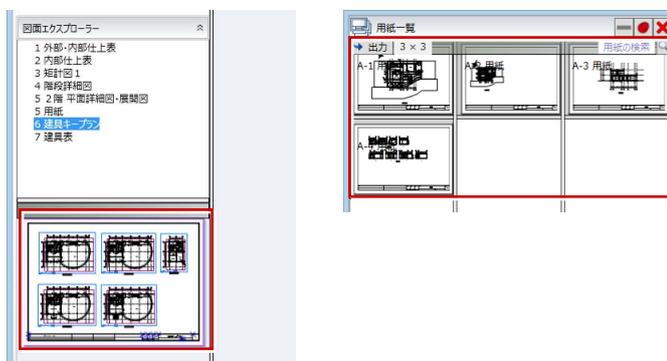
設計変更があった場合、加筆修正した部分を残したまま、図面の一部を再作成できます。

詳しい操作については、操作マニュアル「図面編集編」を参照してください。



図面一覧の表示改良

用紙一覧、図面エクスプローラーなどに表示される図面のサムネイル表示が高速化されました。



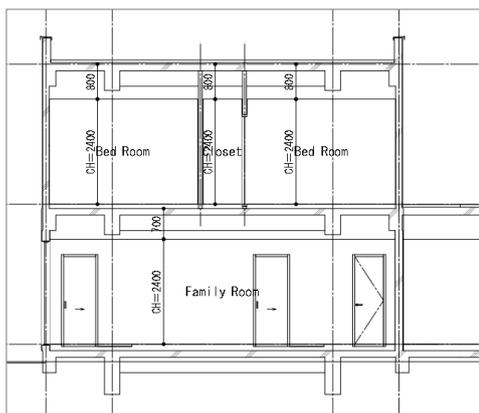
配置図の描画拡張

配置図の詳細指定ウィンドウに「建物区画」を追加しました。バック表示やスペース領域を参照して建物の配置領域を入力することができます。



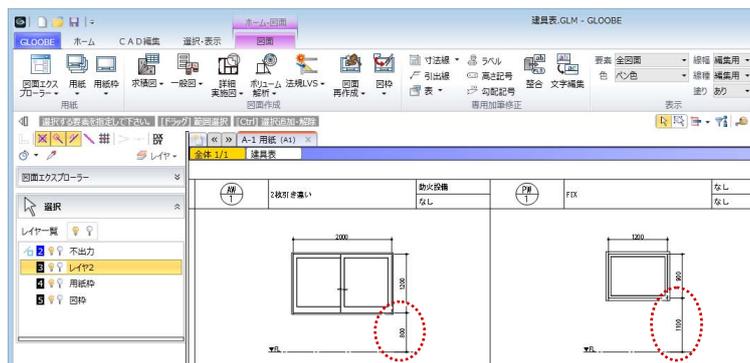
断面図の描画拡張

断面図でスペースの天井高寸法を作図できるようにしました。



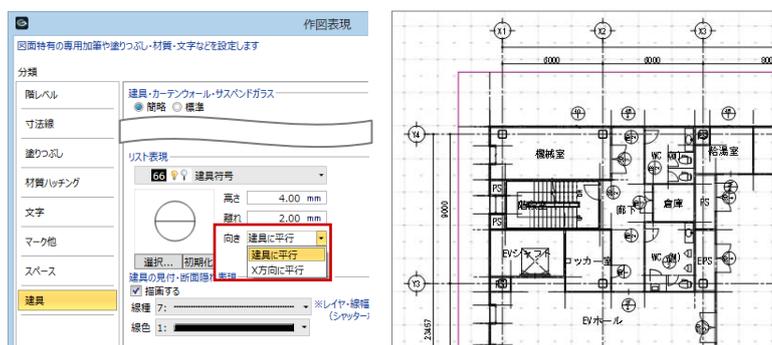
建具表の描画拡張

建具表に建具取付高を作図できるようにしました。
 [建具仕様] の [建具一覧編集] タブの [建具表登録設定] で [符号自動割付に取付高を考慮] を ON にして符号自動割付を行うと、図面/シートで建具表を配置する際、姿図に建具取付高を作図します。



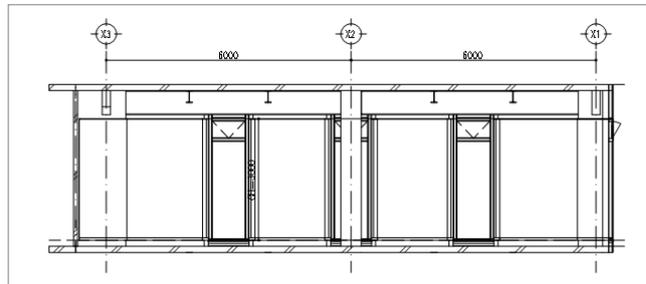
建具符号の向き

平面詳細図や建具キープランを作図する際に、建具符号の向きを設定できるようにしました。作図表現 (建具) の [リスト表現] で、[向き] を「建具に平行」もしくは「X方向に平行」から選択できます。
 ※ モデルの作図表現でも同様の設定が可能です。



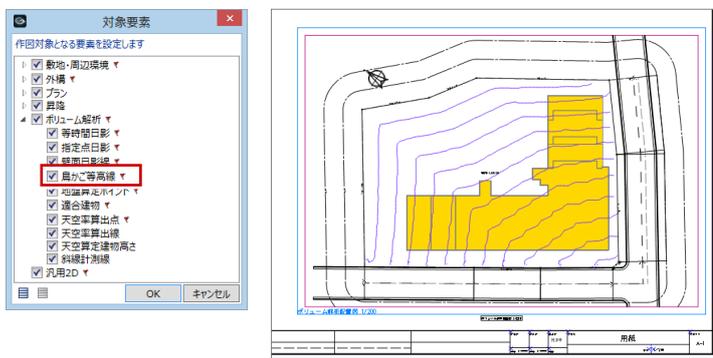
展開図の描画拡張

展開図で床下や上階の梁・スラブなどのオブジェクトを作図できるようにしました。マンションなどで、天井仕上げを梁やスラブに直接貼る場合の図面表現が可能です。



ポリウム解析配置図の描画拡張

ポリウム解析配置図にて、鳥かご等高線 (逆日影斜線計算) を作図できるようにしました。建物配置・高さ説明の際に便利です。



イメージ

[一般図] メニューに [イメージ] を追加しました。
 [イメージ] をクリックすると管理フォルダが開き、GLOBBE で作成した成果物を図面に配置することができます。

